

No. 72 >>> Contents

●年頭所感	一般財団法人大日本蚕糸会 会頭 内藤邦男	1
令和3年度（第77回）蚕糸功労者表彰		3
五十畑茂・啓子夫妻（栃木県小山市）が令和3年度（第60回） 農林水産祭日本農林漁業振興会会長賞を受賞	一般財団法人大日本蚕糸会	5
●トピックス		
社会福祉法人パステルの養蚕への取り組み	社会福祉法人パステル 多機能型事業所 フロンティアおやま 管理者 阿久津圭司	6
純国産絹の日本刺繍糸としての活用 ー「おりひめ」から女子美オリジナル刺繍糸「KOMACHI」へー	女子美術大学 芸術学部 デザイン・工芸学科 工芸専攻 准教授 大崎綾子	10
シルクサミット 2021 in 愛媛 「伝統と革新」を開催して	西予市野村シルク博物館 館長 密田和彦	12
きもの日オンラインシンポジウム ～国産生糸が紡ぐ「きもの」の物語～	農林水産省農産局 果樹・茶グループ地域作物第2班 課長補佐 西野陽子	14
●研究・技術情報		
布地の動的ドレープ性に関する3次元評価法の試み（2） ー織り方が異なるシルク布地と合成繊維布地ー	一般財団法人大日本蚕糸会 蚕糸科学技術研究所 主任研究員 薮島富士江 客員研究員 田村照子	15
●蚕糸・絹業団体情報		
「おやま本場結城紬クラフト館」の紹介	栃木県小山市 工業振興課	18
●イベント情報		20
●一般財団法人大日本蚕糸会から		
2021年度第3次分の純国産絹マーク使用許諾状況		25
純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧		29
活動日誌		36
第10回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクールの出品を募集		37
●蚕糸絹関係博物館一覧		38
●蚕糸絹関係機関ホームページ一覧		41
●統計資料（統計資料の詳細は統計資料目次をご覧ください。）		44



一般財団法人大日本蚕糸会

会 頭 内藤邦男

明けましておめでとうございます。本年も、我が国の蚕糸絹業の発展のため、皆様から大日本蚕糸会に期待される役割が果たせるよう努めて参りますので、宜しく願い申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大により厳しい状況が続いてきましたが、10月の緊急事態宣言の解除後、新規感染者数も減少し、街の人出も増えてきました。催事が再開されるなど経済活動が正常化し、これまで抑制されてきた対面型サービスなどの消費も回復していくと期待されています。

このコロナ禍で進んだデジタル化とオンライン化、リモートワークは、便利さ、効率性等そのメリットを実感できました。小売店の中には、従来からも課題であった商圈の縮小、人手不足を解決するため、eコマース、SNSの活用、オンラインでの接客、更にはそこから顧客を実店舗に誘導するサービスを導入する動きも見られます。

他企業との連携、地方自治体、金融機関などの支援を得て、社会の変化に対応した例といえます。

一方、感染力の強い可能性のある新たな変異株（南アフリカ等で検出された「オミクロン株」）の影響や原油等資源・原材料価格の上昇、円安、物流網等の供給制約、米国の利上げのタイミング、中国経済の動向など不透明な不安要素もあります。我が国も欧米のように、原油・原材料価格の上昇等コストアップを商品価格に転嫁し、賃金上昇に結び付けていくことを考えざるを得ません。

何が起きるか先が見通せない不確実な時代であるだけに、事業者間、地域間の連携が重要となってきています。「全国シルクビジネス協議会」は、シルクに関係する、養蚕、

製糸、加工、流通等の事業者、研究者、地方自治体等幅広い方々が参画しています。情報を共有し、消費者の嗜好、社会の変化をいち早く察知、それに対応していくことが大切です。本ビジネス協議会の場の活用はそのお役に立ちます。

また、蚕糸と製糸、絹織物等加工流通の事業者が提携してグループを作り、販売現場を通して顧客のニーズを把握し、それに沿った製品づくりを進めています。世界的にも干ばつ、豪雨の頻発、激甚化が目立ってきています。気候変動、地球環境問題への関心に伴い、衣料分野でもその素材への意識が高まってきています。「純国産絹マーク」のシールやタグは、天然素材である国産の生糸を使って提携グループによって作られた高品質の絹製品であるという生産履歴を明確に示すものです。地球環境問題への関心が高い消費者にアピールします。

大日本蚕糸会には、蚕糸科学技術研究所があります。蚕の飼育から製品までのプロフェッショナルが集結し、蚕品種、養蚕、製糸、絹等に関する研究・技術開発を行っています。大学・国公立研究機関とも連携しています。

現代は極めて不確実性の高い時代です。これからも皆様方からのお知恵とご協力を賜りながら、日本の蚕糸絹業の発展に努めたいと考えております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

令和3年度（第77回）蚕糸功労者表彰

第77回を迎えた一般財団法人大日本蚕糸会主催の令和3年度「蚕糸功労者表彰式」は、総裁常陸宮正仁親王殿下御臨席の下、令和3年10月21日に帝国ホテル（東京）で挙行する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から今年度も式典は中止することといたしました。

本年度の受賞は、恩賜賞1名、蚕糸功績賞2名、蚕糸功労賞13名、蚕糸有功賞13名、貞明皇后記念蚕糸科学賞1件、蚕糸絹文化学習教育奨励褒賞「蚕を学ぶ奨励賞」2校で、次の皆様方が栄えある表彰を受けられました。

1. 恩 賜 賞（1名）

山 下 興 亜	元 名古屋大学副学長
	元 中部大学学長

2. 蚕糸功績賞（2名）

手 塚 本 衛	前 上田蚕種株式会社 代表取締役社長
---------	--------------------

木 下 幸太郎	現 株式会社マルシバ 代表取締役社長
	現 蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会 代表幹事

3. 蚕糸功労賞（13名）

宮 城 県	西 嶋 洋 子
茨 城 県	谷田部 尅 詮
群 馬 県	小 山 千 明
群 馬 県	關 匡 房
徳 島 県	鈴 木 彰
徳 島 県	佐 藤 泰 三
(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構	岡 田 英 二
(一社) 日本絹人織織物工業会	宮 階 有 二
(一社) 全日本きもの振興会	田 中 源 治

(一財) 伝統的工芸品産業振興協会
(一財) 伝統的工芸品産業振興協会
(一社) 日本蚕糸学会
本 会

西 島 正 樹
隄 信 雄
繭 と 糸 の 会
古 舘 豊 治

4. 蚕糸有功賞（13 名）

宮 城 県
宮 城 県
山 形 県
山 形 県
山 形 県
群 馬 県
群 馬 県
群 馬 県
京 都 府
京 都 府
(一社) 日本絹人織織物工業会
(一社) 日本蚕糸学会
本 会

阿 部 かつ子
阿 部 一 子
大 場 一 仁
寒河江 喜久夫
小 関 勝 彦
関 弘 司
阿 部 文 江
金 井 和 子
河 村 康 史
今 井 巧
遠 藤 龍 二
長 崎 紀代美
浅 野 栄 子

○令和 3 年度（第 64 回）貞明皇后記念蚕糸科学賞

「カイコの性決定機構の解明とそれを利用した性操作技術の開発」

東京大学大学院新領域創成科学研究科

鈴 木 雅 京

東京大学大学院農学生命科学研究科

勝 間 進
木 内 隆 史

○令和 3 年度（第 9 回）蚕糸絹文化学習教育奨励褒賞（2 校）

「蚕を学ぶ奨励賞」

栃木県 小山市立絹義務教育学校
群馬県 桐生市立南小学校

（敬称は略させていただきました）

五十畑茂・啓子夫妻（栃木県小山市）が令和3年度（第60回） 農林水産祭日本農林漁業振興会会長賞を受賞

一般財団法人大日本蚕糸会

本年度の第9回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクールで農林水産大臣賞を受賞者した五十畑茂・啓子夫妻が、令和3年10月6日、農林水産省並びに公益財団法人日本農林漁業振興会共催の令和3年度（第60回）農林水産祭農産・蚕糸部門において、「安定した蚕作と省力化による高品質な繭生産の実現」が高く評価され、日本農林漁業振興会会長賞を受賞しました。

本受賞式は、令和3年11月23日（勤労感謝の日）に東京都渋谷区代々木の明治神宮記念館において行われ、五十畑夫妻が出席し、本会からは内藤会頭も同席しました。

なお、蚕糸関係者の受賞は、第54回農林水産祭（平成27年度）において、日本農林漁業振興会会長賞を受賞した「“絹を未来に” プラチナボーイ研究会」以来、6年ぶりの受賞となります。



五十畑茂・啓子夫妻

その他の受賞者

社会福祉法人パステルの養蚕への取り組み

社会福祉法人パステル

多機能型事業所 フロンティアおやま

管理者 阿久津圭司

・社会福祉法人パステルについて

社会福祉法人パステルは、1998年に、栃木県野木町の小さな施設から誕生した障害者施設です。誕生から地域の皆様と歩む中で、地域社会に必要とされる福祉の充実・発展を目指し、常に幅広い分野から支援に取り組んできました。

障害のある方、そして利用者様一人ひとりがのびのびと、その方らしく生きてゆける未来に思いを馳せ「楽しく働く」「元気に遊ぶ」「豊かに住む」ことをモットーに活動を続けています。

社会福祉法人パステルは、栃木県・茨城県で様々な障害者支援事業を行っています。

養蚕を行っている事業所は栃木県小山市にある「フロンティアおやま」で、糸取りや、染色、織りを行っている事業所は、「CSWおとめ」です。

・養蚕のきっかけ

パステルでは平成26年から「桑のミクスプロジェクト」として桑を使用した製品づくりを始めました。桑茶や桑の葉をパウダーにしてクッキーやケーキに使用する等、食品から始まりました。そんな中、桑と言ったら「蚕！」我々に養蚕はできない

だろうか？と話が持ち上がりました。フロンティアおやまは旧「桑村」の中心部に位置する畑作地帯にあり、結城紬の原点である繭の一大生産地でした。昭和50年頃は、養蚕農家が318戸ありましたが、高齢化と後継者不足から養蚕農家が激減し、現在は、5戸になってしまっているのが現状です。そんな小山市の伝統産業を障害者が支えるようになったら凄いな。という思いもありました。

・実際に飼育してみると…

平成27年の4月。何から始めたらいいのかわからない… 誰かに相談してみよう… 誰に？… JAおやまに相談してみよう！と言う事になり、JAおやま稚蚕共同飼育所へ行き、養蚕をしたいと思っているが、我々でも蚕を飼育することは出来るのでしょうか？と相談すると「じゃあ早速飼ってみましょう」となり、初めての養蚕がスタートしました。

蚕について桑を食べて繭になること以外知らずに飼育が始まりました。飼育していく中で蚕の生態や飼育のポイントを教えてもらいながら毎日が新しい事の連続でした。飼育室も設備も道具も何もない中での

スタートで、中庭にテントを張り周囲をブルーシートで覆い、飼育台の代わりに座卓を使用し、蚕は稚蚕共同飼育所からお借りしたパレットで飼育する事にしました。

必要な道具は地域の方に譲っていただき、餌となる桑の葉は、前年に植えたものがあり、それを使用しました。昼間はテントで飼育、夜間は温度管理の為、室内へ移動させたりもしました。職員が桑を切り、利用者の方々がその桑を運ぶ。給桑は蚕の様子を見ながら利用者、職員が協力して行いました。利用者の方も興味津々で、「ちっちゃいね」「かわいいね」と楽しそうに話していました。蚕に桑を与え食べている様子をじっと見ている顔は蚕を慈しむような優しいものでした。上簇の時は飼育量も少なかったことから、1頭ずつ手拾いで行い、蚕が熟蚕になり糸を吐く様子を見て不思議に感じました。収穫の際には近くの養蚕農家に「まぶし」を持参しマユクリーンをお借りして収穫を行いました

5月21日から飼育を始め6月6日上簇、18日に収穫、翌19日に出荷と無事に初めての養蚕が終わりました。(写真①②③)

・飼育してわかった事…

この飼育で我々にも養蚕が出来る事がわかりました。またその他に4つの事に気付きました。

1つは「作業工程が多い」事。障害のある利用者にとって作業工程が多いと言う事は、多くの利用者が係る事が出来るという事です。一人で全ての工程を行うのではなく、力持ちの利用者は職員が切った桑を運搬する。細かい作業が得意な利用者は、簇中管理で蚕を拾う。生き物（蚕）が好きな利用者は給桑を職員と一緒にやる。等利用者の特性に合わせて養蚕を行うことが出来るのです。

2つ目は「利用者の情操教育になる」事。蚕は虫であるものの、自分よりも小さな命として大切に育てる気持ちを育むのに適していると考えられています。前記した通り、利用者の中には、「ちっちゃいね」「かわいいね」と笑顔を見せてくれる方もいたので効果抜群と感じました。

3つ目は「利用者の給料になる」事。我々は利用者の方に仕事をしてもらい工賃（給料）を支払う事を目的としています。養蚕



写真① 平成27年春蚕期(5/11 掃き)



写真② テントの中に上簇



写真③ 初 繭
掃立数 6,500 粒 収穫量 12kg



蚕を真剣に観察する利用者

は、得た繭代金を利用者に工賃として支払い自立への手助けとなると思いました。

4つ目は「地域貢献」。小山市の伝統産業である養蚕業は高齢化と後継者不足が深刻な問題となっています。我々は障害者施設である為、職員の異動はあるものの養蚕を継続して行っていくことが出き、小山市の伝統産業を守ることが出来ます。

このように福祉的就労（障害を持った方が施設で働く事）・地域・伝統産業を守るという観点から養蚕は重要なものだと思います。

・2回目の飼育から現在

JA おやまの指導のもと、平成 27 年の 6 月に（一財）大日本蚕糸会の繭生産緊急体制強化事業：新規事業者支援事業で飼育室、上簇室、養蚕機器材等を導入し、晩々秋から本格的に養蚕が始まりました。

同年 6 月から平成 29 年 2 月まで、小山市桑地区の五十畑さん宅に実習に行かせてもらい、飼育室等の洗浄と消毒、飼育から頭上げ、簇中管理、収繭、桑園の管理等について、一通りご指導いただきました。

また、桑園も平成 28 年 2 月に、JA 小山養蚕部会員の方々にご協力をいただき、利用者約 30 名と職員でハヤテサカリとイチノセを合わせて約 4,700 本植え付けました。

平成 28 年から平成 30 年までは春Ⅰ、初秋、晩秋、晩々秋の飼育をしていましたが、平成 30 年の初秋ではビニールハウスの飼育室、上簇室の温度が上がり過ぎて高温障害が発生した事から、令和元年からは初秋の飼育は止めて、春Ⅰ、春Ⅱ、晩秋、晩々秋に切り替えました。飼育箱数は、各蚕期 2.5 箱／2 万粒、年 4 回を継続し、繭の収穫量も年々増加しており順調に経過していました。（下表）

フロンティアおやま繭生産実績

1 年次別繭生産実績

表

年 次	飼育回数	桑園面積	飼育箱数	繭生産量	箱当り収量	500 g 当り粒数	10 a 当り収量	備 考
	A (回)	B (a)	C(箱/2万粒)	D (kg)	E=D/C(kg)	F (粒)	G=D/B*100(kg)	
2015	1	10	1.25	46.8	37.4	267	46.8	
2016	3	54	6.25	215.5	34.5	301	39.9	
2017	4	54	8.75	315.5	36.1	298	58.4	
2018	4	54	10.00	348.5	34.9	297	64.5	
2019	4	54	10.00	388.5	38.9	282	71.9	夏蚕→春Ⅱ
2020	4	54	10.00	422.9	42.3	283	78.3	
2021	4	80 (26)	10.00	387.0	38.7	271	71.7	〇 内、新植 26 a
合計又は 7 カ年平均		80	56.25	2,124.7	37.8	286		

そんな中、去年は良い事も悪い事もありました。悪かった点は、晩秋の飼育で初めて濃病が発生してしまった事です。頭上げ2日前頃から様子のおかしな蚕が出始め、JA おやまの蚕業指導員に見ていただくと濃病との事で、利用者、職員で濃病の蚕を拾って処分しました。給桑量が多く、飼育室内の湿度が上がり過ぎた環境と上簇室で使用していたシートを貯桑時に掛けて使用したのが大きな要因です。

そこで、指導員より膿病の防除策の指導を受け、残条・残渣の後片付け後、飼育室及び蚕具機器資材等の消毒の徹底を図るため、炭酸ナトリウム・ポリリンサンナトリウム・次亜塩素ナトリウムの三種混合液の徹底散布、作業員の動行線に沿って、石灰上澄みの散布を実施し、更に消毒を行いました。その結果、晩秋繭は優良繭生産に至りました。

良かった事は、茨城県笠間稲荷神社の献穀献繭祭で「一位賞」と「大日本蚕糸会会頭賞」を頂けた事でした。平成27年から平成30年までは「四位」、令和元年は「三位」、と毎年表彰を受け、養蚕を始めて6年目で最高賞を頂けるまでになりました。これも日頃からご指導くださっているJA おやまの指導員の方と、一生懸命飼育している利用者の皆さんと職員の結果であると思います。

・結びに

今年の養蚕が終わった今、大日本蚕糸会の令和3年度生産対策事業で新たに飼育室を新築し、上簇室を増設しました。来年度から

飼育量を増やし繭の収穫量の増産を目指す予定になっています。また、将来的に遺伝子組換え蚕が飼育できるように、研修会に参加したり農研機構の指導の下、クワコ（野生の蚕）のモニタリングを行っています。

また今年4月にはCSW おとめに「手織り工房 Sakura」を開設しました。この工房では、JA おやま養蚕部会員とフロンティアおやまで収繭した選除繭（中繭：外部汚染・奇形繭など）を使い糸とり・染色・機織りを行っています。「農福連携体制の確立」に向けて、法人内で繭を使つての6次化産業に取り組めるようになりました。

この生産流通の一環体制が出来た事で、利用者の方が携わる作業が増え、織りの作業を行う利用者が増えました。

我々社会福祉法人でも養蚕ができて、質の良い繭が生産できる事が証明できました。これからも利用者の働く場と地域貢献と、小山市の伝統産業を、障害を持つ利用者と一緒に守り、継承していきたいです。

今後、蚕糸関係機関団体等の特段成るご指導ご協力を宜しくお願い致します。

■ 問い合わせ先：

①社会福祉法人 パステル（法人本部）

TEL: 0285-39-6088

FAX: 0285-39-6188

②フロンティアおやま

TEL: 0285-25-1110

FAX: 0285-23-0020

e-mail: frontier_oyama@fukushi-pastel.jp

担 当：阿久津

純国産絹の日本刺繍糸としての活用

ー「おりひめ」から女子美オリジナル刺繍糸「KOMACHI」へー

女子美術大学

芸術学部 デザイン・工芸学科 工芸専攻

准教授 大崎綾子

女子美術大学工芸専攻の刺繍コースは1900年の大学創立以来、120年以上に渡り刺繍教育者や作家を生み出している伝統のある教育課程です。2015年に（一財）大日本蚕糸会、蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会とコラボし、二子玉川ライズにて行われた純国産「宝絹展」で、「次世代の絹」をテーマに作品を制作し、展示発表を行いました。その際に触れた「純国産絹」の感触に魅了された私たちは、2016年より提携グループである株式会社マルシバのご協力により、若手作家を中心に純国産絹を使用した刺繍名古屋帯や訪問着、和小物などの刺繍製品の開発に取り組んで参りました。

純国産絹の刺繍糸に関しては入手が困難であったため、2015年当初は刺繍糸を制作する工房にお願いし少量制作していただきました。その後、織物の撚糸工場に依頼するもなかなか刺繍糸として使いやすいものはできませんでした。

2020年には織物の残糸をご提供いただいたのを機に、京都の刺繍糸を扱っている撚糸会社に依頼し希望通りの糸を制作することが出来ました。その際、「春繭」、「晩秋繭」それぞれの生糸が入手できたので、

違いを確認するために試験的に別々に合糸をしました。生糸の段階で「晩秋繭」は褐色がかったのですが、刺繍糸としてあがってきた際には、「春繭」と同じ純白の糸となっていました。ただ、触感としては「春繭」の方がふわっとした感触がありました。これは精錬による差も考えられ、明確な違いを断言するのは困難ですが、刺繍糸としては「春繭」の方が若干糸別れしにくい感覚でした。この様な糸は、糸撚りを行わず使用した場合、そのふわっとした感じが柔らかな印象を産みます。「晩秋繭」は糸束がしっかり固まっている触感で、釜糸を初めて使う初心者にもさばきやすい糸になっていました。

現在は、メスだけの蚕品種「おりひめ」の繭が入手出来たので、座繰りをして生糸を挽いて、刺繍糸の制作に挑戦しています。座繰りでは、繭を煮て蜘蛛の糸のような細い糸を引き出し、7粒をまとめて1本とし、それを10本～12本集めて刺繍用の糸としました。椿灰に熱湯を入れ1晩経った上澄みを使用して灰汁練を行いましたが、思いのほか柔らかくはなりませんでした。

なお、「おりひめ」はレモン色をした繭

ですが、繭を煮た時点で黄色いフラボノイドはだいぶ溶け出してしまいました。精練でさらに色は薄くなり最終的に刺繍を行った糸にはほんの少し黄色の色が残るのみでした。「おりひめ」の製糸を座繰りで行うのは技術的にも難しいことがわかった為、15kgほどの繭の製糸を岡谷の株式会社宮坂製糸所に依頼しました。普通品種よりもほぐれが悪くフシが出やすかったとのことですが、可能な限り除去していただき糸としては問題ない状態になりました。この糸を女子美オリジナル刺繍糸「KOMACHI」としてノスタルジックな色を21色選定し染色することとしました。糸自体は年内にも完成予定となっており今後は「KOMACHI」を中心に使用し販売展開を行って参ります（写真1）。

また、今年度は若い感性を伝統の日本刺繍に生かすプロジェクト、宝絹×女子美「絹から生まれるトキメク刺繍」を一昨



写真1 「おりひめ」繭 座繰りした生糸と刺繍

年に続き11月9日から14日、有楽町のジャパンシルクセンターで開催しました。在学生や卒業生の若手の刺繍作家が制作した帯、和装小物やブローチを販売いたしました。密を避けるためにWSの開催はありませんでしたが、刺繍制作や糸撚りの実演を行い、来場されたお客様に楽しんでいただきました（写真2）。



写真2 純国産の絹を使った学生作品 刺繍名古屋帯とブローチ等

シルクサミット 2021 in 愛媛

「伝統と革新」を開催して

西予市野村シルク博物館

館長 密田和彦

愛媛県で生産される生糸は、伊予生糸（いよいと）と呼ばれ、古くから高品質な生糸として取引され、明治・大正・昭和・平成・令和に至るまで幾多の盛衰を経ながら引き継がれ現在も生産を続けています。

数年前より養蚕農家の高齢化が顕著となり、蚕糸関係者の間では、伊予生糸消滅の危機感が漂い、新規養蚕者の育成や伊予生糸の地理的表示 GI 登録（2015 年）に向けた活動を続けて参りました。2018 年には、シルクを有効かつ多角的に活用する新しいシルク産業の創出を目指し、産学官の連携団体である「愛媛シルク協議会」を設置し、シルクに興味のある幅広い機関との連携が可能となり、愛媛シルクの新時代を構築すべく活動しています。

今回、農研機構からシルクサミットの開催地として打診をいただき、「シルクサミット 2021 in 愛媛～伝統と革新～」と題し、愛媛シルク協議会活動の集大成として開催させていただく運びとなりました。

当初、参加者が集まっていた開催を準備しておりましたが、昨年から続く新型コロナウイルス感染症の第 5 波が開催直前に大きなものとなり、感染症拡大防止のためにやむを得ずオンラインによる 1 日のみの開催となりました。2021 年 10 月 8 日に全国から約 260 名の参加をいただきました。



活動事例報告

【講演と活動事例報告】

開会に先立ち、愛媛シルク関連産業の推進に支援いただいているえひめ産業振興財団の俊野健治専務理事より主催者挨拶がありました。

基調講演は、筆者が「伊予生糸をつなぐ」と題し、伊予生糸の伝統と名声を紹介し、西日本で唯一残る蚕種・養蚕・製糸の輪である伝統的な蚕糸業と発展が期待される革新的なシルク産業との融合について講演しました。

活動事例報告では、リモート中継により、「わたしのシルク研究」と題し、農研機構の小島桂上級研究員より、画期的なシルク生産が期待される遺伝子組換えカイコの開発やシルクのタンパク質素材化研究について紹介されました。

続いて「歴史的資源を活用した観光まちづくり—大洲の養蚕産業を支えた川港の復活を目指したシルク新商品について—」と題し、

(一社) キタ・マネジメントの井上陽祐係長より、古くから養蚕と製糸で栄えた大洲市で県内一の繭生産を誇る瀧本家の繭の新活用法と観光産業について紹介されました。

次にリモート中継により「世界の繊維事情」と題し、全国シルクビジネス協議会の鳥越昌三氏より、石油由来繊維に代わって植物由来繊維の開発が注目されているが、将来的に繊維不足が懸念され、環境負荷が少ないシルクが有望と話されました。

さらに宇和島市からのリモート中継により「カイコサナギの機能性とその利用」と題し、愛媛大学三浦猛教授より、カイコサナギ由来の機能性多糖シルクロースの魚類養殖の生産効率の向上効果について研究紹介されました。

事例報告の最後に「愛媛シルク、ミライシルク、新たな挑戦」と題し、ユナイテッドシルク(株)河合崇代表より、新しいシルク産業の創出を目指し、産学官の連携団体である愛媛シルク協議会の活動について紹介されました。

【愛媛県産シルク商品紹介】

会場に展示ブースを設け、新たに開発された愛媛県産シルク商品を一堂に展示し、オンラインで中継しました。

講演の合間にユナイテッドシルク(株)清谷啓仁氏より愛媛シルク協議会で開発されたシルク商品が紹介され、食パン、飴、ハチミツ、プリン、地ビールの食品や石鹸、タオル、ナイトキャップ、養蚕キットと多岐にわたる内容でした。

また、大洲市よりシルクパウダーの利用法として砥部焼釉薬、豆乳、焼き菓子、パンの商品紹介がありました。

西予市からは、伊予生糸を無染色で使用したベビードレスやスモールグッズが紹介



愛媛県産シルク商品展示ブース

され、伊予生糸の特徴である白度や光沢が生かされた商品でした。

【次回開催地へ激励】

開催地を代表して、八矢拓愛媛県副知事より、次回開催地の山形県鶴岡市へ激励のご挨拶がありました。八矢副知事は、山形県のご出身であり、ふるさとへの想いを感じるご挨拶でした。

最後に、リモート中継により鶴岡市企画部の上野課長より次回開催地のご挨拶があり、愛媛県から鶴岡市へバトンが渡されました。

【コロナ禍でのオンライン開催】

オンライン開催は、シルクサミット初めての試みとなりましたが、参加者の皆様に安心して場所に縛られず遠方からもご参加いただけるメリットもあり、さらに、オンライン上でコミュニケーションが取れる仕組みを用意していただき、大きなトラブルもなく、多数の参加をいただき開催することができました。

予定変更を余儀なくされ、開催準備に奔走いただいた愛媛実行委員会をはじめとする関係機関の皆様、会場と配信技術を提供いただきました南海放送(株)に紙面をお借りしてお礼申し上げます。

きものの日オンラインシンポジウム

～国産生糸が紡ぐ「きもの」の物語～

農林水産省農産局

果樹・茶グループ地域作物第2班

課長補佐 西野陽子

11月15日はきものの日です。

農林水産省では、例年、この時期に、蚕糸業の振興や和文化の発信を目的に、有志職員で和装勤務を行っております。本年は、この和装勤務に加え、全国シルクビジネス協議会と共催で、シンポジウムを開催しましたので、簡単にその内容をご紹介します。

前半は、全国シルクビジネス協議会会長である（一財）大日本蚕糸会の内藤邦男会頭、東京国立博物館で開催された「きもの展」を担当された東京国立博物館の小山弓弦葉工芸室長、有名女優の衣装スタイリングや国産繭を用いた着物をプロデュースした着物スタイリストの石田節子さん、着物とも関連の深い茶道の世界から大日本茶道学会の田中仙堂会長、の4名が養蚕の歴史や着物の文化等について講演しました。

その後、これからの養蚕業を支える若手養蚕農家である山梨県の芦澤洋平さん、群馬県の浅井広太さん、絹製品メーカーである京都の白生地メーカー（株）伊と幸の北川幸代表取締役社長、日本橋の組紐士である（株）龍工房の福田隆太郎、の4名が「国産繭・生糸の魅力」について語り合うパネルディスカッションを行いました。



パネルディスカッションの様子

今回のシンポジウムでは、「きもの」をキーワードに多種多様な分野で活躍する講演者の皆様に集結していただくことで、着物の魅力を再発見することができ、オンラインで参加した方からいただいた「シルクの未来は明るいと感じた」との御意見どおりの展望の開けた会となりました。講演者の皆様におかれましては、お忙しい中、シンポジウムにご登壇いただき、誠にありがとうございました。

また、オンラインにてご参加いただいた皆様も長時間に渡り、誠にありがとうございました。追って、下記HPにシンポジウムの様子を掲載しますので、参加できなかった方はぜひご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/seisan/tokusan/sannshi_sympo.html

布地の動的ドレープ性に関する 3 次元評価法の試み（2）

－織り方が異なるシルク布地と合成繊維布地－

一般財団法人大日本蚕糸会

蚕糸科学技術研究所

主任研究員 齋島富士江

客員研究員 田村照子

はじめに

開発した 3 次元動的ドレープ性測定装置により、布地を載せた測定台を回転させた際の布地のダイナミックな動きを計測し、動的ドレープ性を数値化する取り組みを進めています¹⁾。前号では装置の概要と、洋装と和装でそれぞれ一般的なシフォンと縮緬の動的ドレープ性をご紹介しました²⁾。今回は、織り方が異なるシルクの布地と合成繊維の布地の動的ドレープ性についてご紹介します。

布地の種類と測定方法について

図 1 に、布地の厚さと重さ及びマイクロスコップ写真を示します。計測に使用した布地は、織り方が異なるシルクのシフォン、クレープデシン、縮緬、サテンの 4 種類と、合成繊維を使用した布地（合繊布地）のポ

リエステルサテン、レーヨンサテン、キュプラサテンの 3 種類で、計 7 種類です。

計測方法は、前号とほぼ同条件ですが、測定台の回転数のみ 70rpm、140rpm、210rpm と 3 段階に変化させ、それぞれ経糸方向の布端に添付したマーカの位置を時系列順に並べた揺動波形を求めました。

水平方向からみた各布地の形状と揺動波形

水平方向からみた各布地の広がり形状と揺動波形を図 2 に示します。いずれの布地も回転数が増加するに伴い広がり、一部の布地では襞が減少していることがわかります。

波形をみますと、回転数 70rpm ではシルクの中でシフォンとクレープデシン、サテンクレープの 3 種類、合繊布地ではキュプラサテンの各振幅が大きい一方で、シルク縮緬とポリエステルサテン、レーヨンサテ

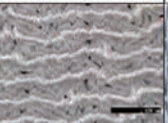
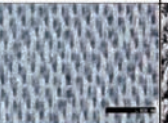
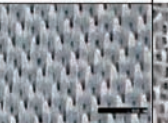
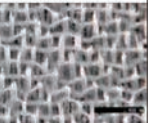
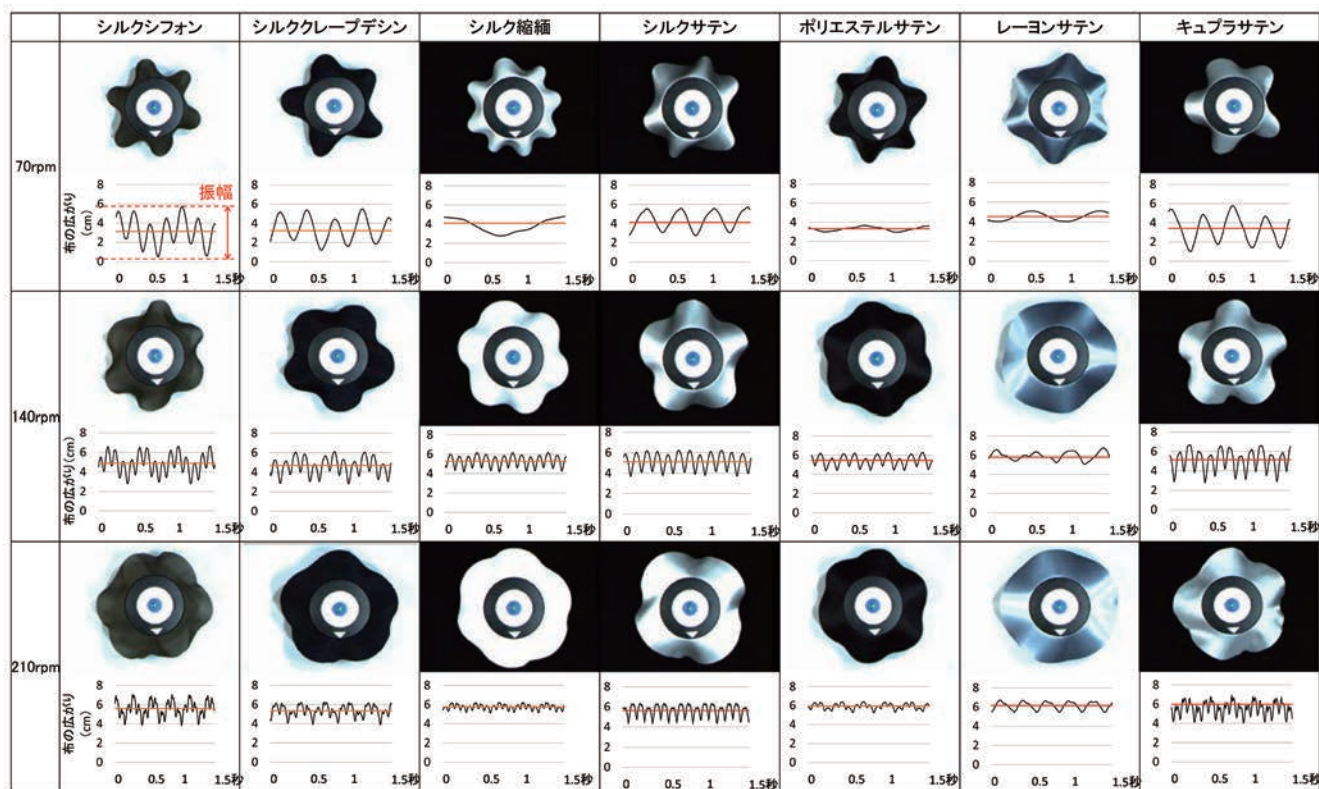
布地名	シルクシフォン	シルククレープデシン	シルク縮緬	シルクサテン	ポリエステルサテン	レーヨンサテン	キュプラサテン
厚さ(mm)	0.17	0.53	0.62	0.28	0.37	0.56	0.27
重さ(g/m ²)	43.5	133.2	154.6	69.2	93.5	139.2	68.0
							

図 1 各布地の厚さと重さ及びマイクロスコップによる表面写真



(波形図中の赤ラインは振幅の平均を表す)

図2 水平方向における各布地の形状及び 1.5 秒間の揺動波形

ンの振幅は小さくなっています。水平方向の振幅が大きいほど布端の揺れが大きくなることを意味するため、前者の4種類は布端の揺れが大きく、後者の3種類は揺れが小さいことがわかります。いずれの布地も回転数が140rpm、210rpmへと増加するのに伴い、揺れは小さく速くなる傾向がみられました。シルクの中でシフォンとクレープデシンは複雑な波形を示したのに対し、縮緬とサテンは規則的で単純な波形となりました。合繊布地についてみますと、ポリエステルサテンはシルク縮緬に、キュプラサテンは比較的シルクサテンに類似した波形がみられ、レーヨンサテンは他のいずれの布地とも異なる波形を示しました。

垂直方向からみた各布地の形状と揺動波形

図3に70rpm、140rpm、210rpm回転時の、垂直方向からみた各布地の形状と揺動波形を示します。形状をみますと、いずれの布地も回転数の増加とともに布端が上方に浮き上がり、上下の揺れが大きくなる傾向がみられ、一部の布地では布端が試料台よりも上方方向にめくることが観察されました。

回転数70rpmの波形をみますと、シルクのシフォン、クレープデシン、サテン及び合繊布地のキュプラサテンは振幅が大きく、布端がふわふわと上下に大きく揺れることを表しています。一方、ポリエステルサテンとレーヨンサテンは振幅が小さく、緩やかに揺れていることがわかります。いずれの布地も、回転数が増加するのに伴い

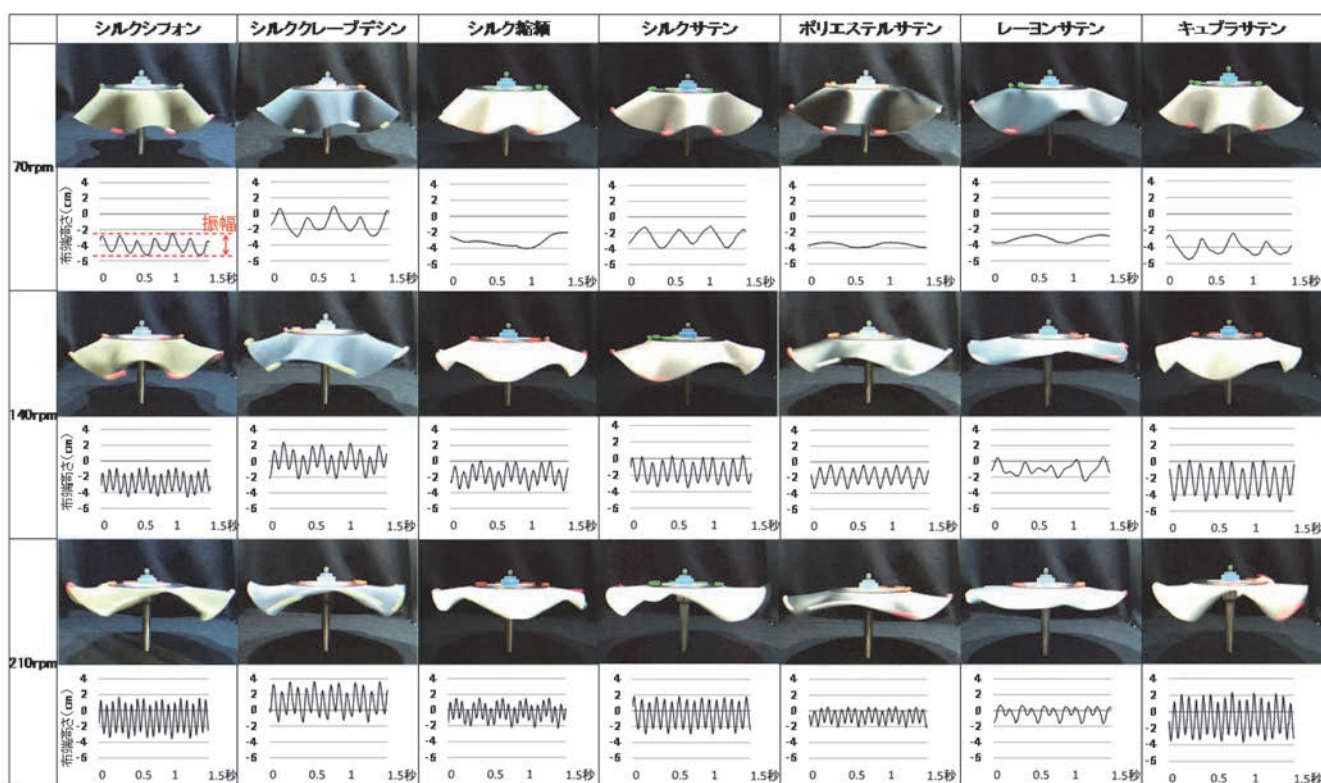


図3 垂直方向における各布地の形状及び1.5秒間の揺動波形

振幅は大きく細くなるため、布端が浮き上がるとともに上下に大きく速く揺れることがわかります。シルクの中では、シフォンとクレープデシン、サテンは波形が類似していますが、デシンは布端が浮き上がりやすく、合繊布地の中ではキュプラが最も上下に大きく揺れることが示されました。

おわりに

2回に亘り、織り方の異なるシルク布地と合成繊維の布地についての動的ドレープ性をご紹介しました。私たちの研究から、シルクでは織り方が異なると布地の広がり方、浮き上がりやすさ、上下の揺れが異なり、サテンのように同じ織り方であっても布地を構成する繊維が異なると揺れ方も異なることがわかりました。本研究に興味を

お持ちになった方がいらっしゃいましたら、お気軽にご連絡ください。なお、本研究にご協力頂きました李恩眞さんに厚く御礼申し上げます。

【引用文献】

1. 田村照子・李恩眞・靄島富士江・花之内智彦・片山貴文：「布地の動的ドレープ性・揺動性に関する3次元評価法の試み」．日本繊維消費科学会誌、60、639-648．2019．
2. 靄島富士江・田村照子：「布地の動的ドレープ性に関する3次元評価法の試みーシルクシフォンと縮緬ー」．シルクレポート、No.71、8-10．2021．

■ 問い合わせ先：

一般財団法人大日本蚕糸会
蚕糸科学技術研究所

〒300-0324

茨城県稲敷郡阿見町飯倉1053番地

TEL：029-889-1771

FAX：029-889-2356

「おやま本場結城紬クラフト館」の紹介

栃木県小山市
工業振興課

はじめに

栃木県の養蚕業は、群馬県に次ぐ全国2位の繭の出荷量を誇り、その中でも小山市は県内トップの生産をしています（令和2年度現在）。小山市の東部に位置する農村はかつて「絹村」・「桑村」と呼ばれており、古くから養蚕の盛んな地域でした。栃木県と茨城県をまたがるようにして流れる「鬼怒川」が桑木の育成に適した砂地の土壌をもたらしたことから、小山の土地に養蚕業が根付いたと言われています。

そんな小山市の養蚕業と結城紬は深い繋がりが 있습니다。養蚕の生産過程で生糸への加工に向かない「くず繭」や蚕が2匹で繭を作る「玉繭」等の本来ならば「捨ててしまう繭」を農家が自分たちの作業着として製織したのが結城紬の始まりです。

結城紬は1956年に日本の絹織物として

「糸つむぎ・絹くくり・地機織り」が国の重要無形文化財に指定され、2010年にはユネスコの無形文化遺産に登録されました。

「おやま本場結城紬クラフト館」は本場結城紬の情報発信・PR拠点として、JR小山駅に隣接するロブレビル1階に2016年5月に開館しました。

本場結城紬の歴史

結城紬は大島紬と並び、二大紬と称されます。その歴史は古く、奈良時代に常陸の国の特産物として朝廷に上納されていた布が結城紬の原型とされています。「常陸紬」と呼ばれた織物は、後に結城家から室町幕府に献上したことから「結城紬」と名前を変えました。江戸時代には、質素な無地、粋な縞柄は、武士から商人まで幅広く好まれました。明治の初期までは男性ものが主



クラフト館外観



製作工程パネル

流だった結城紬も、徐々に女性ものに変化していき、緋の製織技術が高まり、結城紬の真骨頂、亀甲緋が登場し、「憧れの結城紬」の地位を獲得します。しかし、生活様式の変化により最盛期3万反以上あった生産数は現在1,000反を切り、事業規模は年々縮小しています。

館内実施内容

1 実演

本場結城紬の伝統技術を身近に感じてもらうため、重要無形文化財の指定要件のうち「糸つむぎ」と「地機織り」の2つの工程の実演を実施しています。毎月原則第一土曜日に産地の職人が守り続ける伝統の技を間近に見ることができます。



糸つむぎ

2 コースター織り体験

もっとも原始的な織機であり、本場結城紬の特徴である地機を使用します。所要時間は平均1時間程度かかり少し大変ですが、世界に一つだけのオリジナルのコースターを作ることができ、出来上がったときの達成感はひとしおです（要予約）。

3 本場結城紬着心地体験

本場結城紬の着心地の良さを知ってもらうために、着心地体験を行っています。

無地・緋・緋など好きな着物を着付けてもらって、そのまま街中にお出かけいただけます。

着物・帯・履物・その他の着付けに必要な小物類等、すべて貸し出しいたしますので、お気軽に体験ができます（要予約）。



着心地体験

■ 問い合わせ先：

おやま本場結城紬クラフト館

〒323-0023

栃木県小山市中央町3-7-1 ロブレビル 1F

TEL: 0285-32-6477

入館無料

開館時間 9:00 ~ 18:00

休館日 月曜日（月曜が祝日の場合は翌日）
年末年始

イベント情報

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、各博物館では臨時閉館やイベントを中止している場合があります。詳細は各 WEB サイトなどでご確認ください。

●岡谷蚕糸博物館 企画展

信州の作家展 Part3 小岩井紬工房「伝統を繋ぐ・紡ぐ・織る」

長野県各地域には、シルク作品を制作している染織作家が活躍されています。シルク岡谷からその魅力を発信する企画展第三弾！創業以来変わらぬ手織りで上田紬を織り続ける小岩井紬工房三代目カリナさん・良馬さん姉弟の魅力と色彩の世界を、ぜひご堪能ください。

〈会期〉令和3年11月18日（木）～令和4年2月13日（日）9:00～17:00

休館日：水曜日・祝日の翌日・年末年始（12/29～1/3）

〈主催〉岡谷蚕糸博物館 —シルクファクトおかや—

〈会場〉岡谷蚕糸博物館 〒394-0021 長野県岡谷市郷田 1-4-8

Tel: 0266-23-3489

<https://silkfact.jp/>

E-mail: hakubutsukan@city.okaya.lg.jp

●岡谷蚕糸博物館 企画展

かいこのかみさま —ユニークな姿と切なる願い—

養蚕は天候や病気の害を受けやすく、古くから養蚕農家は神仏に繭の豊作を祈ってきました。岡谷には、蚕糸業の発展を祈ってきた信仰の形が石造物をはじめ数多く残されています。蚕糸業に携わる人々の神仏に託す願いをご覧ください。

〈会期〉令和4年2月17日（木）～5月中旬 9:00～17:00

休館日：水曜日・祝日の翌日

〈主催〉岡谷蚕糸博物館 —シルクファクトおかや—

〈会場〉岡谷蚕糸博物館 〒394-0021 長野県岡谷市郷田 1-4-8

Tel: 0266-23-3489

<https://silkfact.jp/>

E-mail: hakubutsukan@city.okaya.lg.jp

●日本絹の里 特別展

「齋藤定夫展 ～伊勢崎に機音を鳴らし続ける～」

伊勢崎絹の生産工程の全てを自ら行い、「括り絹」や「板締め絹」の技法で糸を染め分け、手織りならではの技術で繊細な織物の意匠を追求している齋藤定夫さんの作品を紹介します。

〈会期〉令和3年12月18日（土）～令和4年2月6日（日） 9:30～17:00

休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）・年末年始（12/27～1/5）

1月3日（月）は臨時開館

〈主催〉群馬県立日本絹の里

〈会場〉群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●日本絹の里

「群馬の絹」展

群馬の繭・生糸を使用した、和装品や洋装品・工芸品などの絹製品の展示と販売を行います。手織りや藍染め等のワークショップ、きもの着付け体験などのイベントも同時開催します。

〈会期〉令和4年2月10日（木）～2月14日（月） 9:30～17:00

会期中無休

〈主催〉群馬県立日本絹の里

〈会場〉群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●日本絹の里 特別展

「まゆクラフトと絹の作品展」

繭の特性をいかした独創的なまゆクラフト作品とともに、工芸作家及び日本絹の里友の会会員による作品を展示します。繭、絹の持つ素晴らしさを感じてください。

〈会期〉令和4年2月19日（土）～4月11日（日） 9:30～17:00

休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）

〈主催〉群馬県立日本絹の里

〈会場〉群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●シルク博物館

【講座】「かいことその仲間の生態・最新の研究について」

かいこという昆虫の繭から作られるシルクは古来よりもっとも身近な天然繊維として人に利用され、今日まで世界中で多くの人々に親しまれています。しかしかいことそのものについては、人の身近な存在でありながら「知っているようでよく知らない」という方が多いのではないのでしょうか。この講座では、そんなかいことについて、その仲間の生態や最新の研究まで、専門講師をお招きし全3回にわたり様々な側面から詳しく考察します。

「かいことについてもっと知りたい」というみなさまのご参加をお待ちしています。

第1回 令和4年1月15日（土）14時～16時

「わが国養蚕の発展とそれを支えた技術開発」

講師：一般財団法人日本蚕糸会 蚕業科学技術研究所所長 新保博氏

第2回 令和4年2月12日（土）14時～16時

「蚕の仲間 野蚕について」

講師：東京農工大学大学院 准教授 横山岳氏

第3回 令和4年3月12日（土）14時～16時

「シルクの新しいかたち」

講師：東京農工大学大学院 准教授 伊藤克彦氏

〈参加費〉 無料（入館料が必要です）

〈対象〉 成人（大人の方向けの講座です）

〈定員〉 各20名

〈申込方法〉 電話にて事前申込を受け付けます

〈申込募集期間〉 令和3年11月26日（金）～12月26日（日）

◎ワークショップ 「くみひもストラップ作り」

くみひもは、日本の伝統工芸です。何十本もの糸を合わせて一束（一つの単位）にしたものを3束以上使って、一定の組み方により、交互に斜めに交差させながら作ります。組み合わせる糸の色や本数、組み合わせ方によって、様々なくみひもが仕上がります。例えば、着物の帯締めから、身近なところでは、巾着袋のひもなど、様々な使い方がされています。このワークショップでは、2色の絹糸を使って簡単にできる、くみひもストラップを作ります。

〈開催日〉 令和4年1月29日（土）、3月26日（土） 13:00～15:00

〈定員〉 6名（事前に電話で申込・先着順）

〈参加費〉 800円（入館料別）

〈講師〉 博物館職員

◎子ども向けワークショップ

★まわた人形「あひるの親子」作り

まゆは「かいこ」が吐き出す糸から作られています。まゆから作ったふかふかのまわたを使って、かわいい「あひる人形」を作りましょう。体験を通して、まゆやまわたなどの特徴について学びます。

〈開催日〉 令和4年2月26日（土） 10:30～11:00、13:30～14:00、14:30～15:00

〈定員〉 5名（事前に電話で申込・先着順）

〈参加費〉 200円（入館料別）

〈講師〉 博物館職員

〈会場〉 シルク博物館 学習コーナー

★かいことシルクの勉強会

生きている「かいこ」を観察しながら、かいことシルクについて勉強します。

〈開催日〉 令和4年3月5日（土） 10:30～11:30、13:30～14:30

〈定員〉 5名（事前に電話で申込・先着順）

〈参加費〉 無料（入館料別）

〈講師〉 博物館職員

〈主催〉 シルク博物館

〈会場〉 シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地 2階

Tel:045-641-0841

<https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum>

★イベント開催報告

群馬県立日本絹の里 特別展「大竹夏紀展 Mount Penglai」

会期：9月9日（木）～10月18日（月）

開催報告：

群馬県富岡市にアトリエを構え、シルクアーティストとして染色活動を行う大竹夏紀さんは、伝統的な染色技法である“ろうけつ染”を用いて、自身の中に思い描く華やかな少女・女神達を独創的に表現しています。

本展では、古代中国における伝説上の霊山である「蓬莱山」をモチーフに制作した新作の大型作品を中心にご紹介しました。大竹さん独自の表現で描き出された、彼女の中にある美しい理想郷を多くの方々にご堪能いただきました。

駒ヶ根シルクミュージアム「第14回現代手織物クラフト公募展」

会期：10月21日（木）～11月28日（日）

開催報告：

全国から応募されたシルクや紬などの天然繊維のきもの・反物・帯地・タペストリーの独創的で感性に満ちた応募作品の中から、審査委員によって厳選された入賞・入選作品55点を展示し、展示作品の写真集（頒布価格1,000円）を発行しました。

関係者が一堂に集まる“表彰式・交流会”イベントは、新型コロナウイルスの影響に伴うお客様の安全面を考慮して中止しましたが、展示会はコロナ感染予防に努めつつ、開催しました。近隣のきもの好きの方々はもちろん、応募出品者の皆様方も三々五々展示会場にご来場下さり、好評でした。

シルク博物館 秋の特別展「第26回全国染織作品展」

会期：10月23日（土）～11月28日（日）

開催報告：

10月23日（土）から11月28日（日）まで開催の「第26回全国染織作品展」では、多くの来館者がありました。入選者のご家族やご友人等、出品者の関係の方々にとどまらず、HPやツイッター、新聞などを見て当展覧会の存在を知り、足を運んでくださった方々も多くいらっしゃいました。タイトルや制作者コメントを読みながら、1点ずつじっくり作品を鑑賞している来館者の姿が印象的でした。アンケートに寄せられた感想では、開催毎にご来館くださる方や絹染織作品の表現の多様性に感心したという声もみられました。

岡工110周年記念展「製糸業と諏訪蚕糸野球」

会期：7月15日（木）～11月14日（日）

開催報告：

明治45年に誕生し、製糸業の発展を支える人材を育成してきた諏訪蚕糸学校、その後の長野県立岡谷工業高等学校の教材、卒業アルバム、蚕糸業実習写真、当時大活躍を見せた諏訪蚕糸野球部の資料を展示。会期中の入場者数は7,268人でした。特に多かったのは小中学生で、当時教材として使った体長90cm程の蚕体模型に目が釘付けでした。諏訪蚕糸野球部は昭和4年に、当時としては珍しい台湾遠征を行いました。その時に製糸家が多大な援助をし、岡谷の製糸工場で作った生糸でユニホームを作成し遠征に臨みました。その複製版も展示しました。当時のメンバーのご家族にも多数ご覧いただきました。

2021 年度第 3 次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マークの 2021 年度第 3 次審査委員会を 2021 年 11 月 29 日（月）に開催しました。今回の申請は 7 者で、新規申請者 2 者 4 品目、使用許諾されている 5 者のうち履歴の追加 4 者 9 品目、数量の追加 1 者 3 品目の申請がありました。これらの申請を審査委員会で審査した結果、7 者 16 品目に対し、12 月 6 日（月）付けで純国産絹マークを使用許諾する旨通知しました。

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(新規) 昭和西川（株） 代表者名：多田昌且 (担当者：田中みどり) 〒103-0027 東京都中央区日本橋一丁目 1 番 7 号 TEL：03-6858-5670 表示者登録番号 244	真綿ふとん (詰物：小石丸 側地：新小石丸)	1 枚	蚕品種 小石丸、新小石丸 繭生産 JA 甘楽富岡・ JA はぐくみ管内養蚕農家 真綿生産 DESIGN 様 製 糸 碓氷製糸（株） 製 織 創作工房糸あそび
	真綿ふとん (詰物・側地：新 小石丸)	2 枚	蚕品種 新小石丸 繭生産 JA はぐくみ管内養蚕農家 真綿生産 DESIGN 様 製 糸 碓氷製糸（株） 製 織 創作工房糸あそび
(新規) 大迫織物（株） 代表者名：大迫孝一 (担当者：大迫孝一) 〒891-0115 鹿児島県鹿児島市東開町 13 番 12 号 TEL：099-254-5847 表示者登録番号 245	先染反物 (大島紬（紗織）)	80 反	蚕品種 世紀二一、錦秋×鐘和 繭生産 JA 碓氷安中・ JA はが野管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸（株） 製 織 大迫織物（株）
	先染反物 (大島紬（両面織）)	80 反	
(履歴の追加) (株) やしま 代表者名：中須賀賢一 (担当者：中須賀賢一) 〒730-0042 広島市中区国泰寺町 1 - 3-15 TEL：082-543-2118 表示者登録番号 238	白生地 (表地（紋意匠）)	33 反	蚕品種 錦秋×鐘和、世紀二一 繭生産 JA たかさき・ JA 碓氷安中管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸（株） 製 織 (株) アシヨネ 精 練 丹後織物工業組合

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(履歴の追加) 日本蚕糸絹業開発協同組合 代表者名：小林幸夫 (担当者：間野和之) 〒 370-0006 群馬県高崎市問屋町 3 - 5 - 3 TEL：027-361-2377 表示者登録番号 021	白生地 (変り一越ちりめん)	40 反	制作企画 絹小沢 (株) 繭生産 糸井文雄 製 糸 碓氷製糸 (株) 製 織 南久ちりめん (株) 精練加工 浜縮緬工業 (協)
(履歴の追加) 田中種 (株) 代表者名：田中隆 (担当者：田中隆) 〒 541-0056 大阪市中央区久太郎町 2 - 3 - 15 大阪婦人子供服会館 3 階 TEL：06-6261-2091 表示者登録番号 060	ニット (手袋)	300 双	蚕品種 錦秋×鐘和 繭生産 JA 太田市管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸 (株) 製編・縫製 (株) 今川
	ニット (靴下)	300 足	蚕品種 錦秋×鐘和 繭生産 JA 太田市管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸 (株) 製編・縫製 タビオ (株)
	ニット (ネックウォーマー)	300 枚	蚕品種 錦秋×鐘和 繭生産 JA 太田市管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸 (株) 製 編 (株) 森下メリヤス工場 縫 製 神戸生絲 (株)
(履歴の追加) 渡豊工房 代表者名：渡辺豊一 (担当者：渡辺豊一) 〒 990-0301 山形県東村山郡山辺町大字山辺 892- 1 TEL：023-664-5405 表示者登録番号 190	先染反物 (市松綾御召 草木染め綾織)	34 反	蚕品種 錦秋×鐘和 繭生産 JA みやぎ仙南・ JA はぐくみ管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸 (株) 撚 糸 梅津撚糸工場 精練染色 自工房 製 織 自工房
	先染反物 (市松綾御召 (男 物) (色無地綾織)	27 反	蚕品種 錦秋×鐘和 繭生産 JA みやぎ仙南・ JA はぐくみ管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸 (株) 撚 糸 梅津撚糸工場 精練染色 佐米染色 (有) 製 織 自工房

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(渡豊工房の続き)	先染反物 (もじり織 草木 染)	32 反	蚕品種 繭生産 製 糸 撚 糸 精練染色 製 織 錦秋×鐘和 JA みやぎ仙南 管内養蚕農家 碓氷製糸(株) 梅津撚糸工場 自工房 自工房
	先染反物 (もじり織)	20 反	蚕品種 繭生産 製 糸 撚 糸 精練染色 製 織 錦秋×鐘和 JA みやぎ仙南 管内養蚕農家 碓氷製糸(株) 梅津撚糸工場 佐米染色(有) 自工房
(数量の追加) (株) 高島屋 代表者名：村田善郎 (担当者：大西隆寿) 〒 542-8510 大阪市中央区難波 5 - 1 - 5 TEL：06-6631-1101 表示者登録番号 030	後染反物 (振袖 (紋意匠))	8 反	繭生産 製 糸 製 織 染色加工 JA なす南管内養蚕農家 松岡(株) (株) 竹林 (株) 千總
	後染反物 (振袖 (5 枚朱子))	25 反	繭生産 製 糸 製 織 染色加工 JA なす南管内養蚕農家 松岡(株) 篠春織物(株) (株) 千總
	後染反物 (振袖 (5 枚朱子))	98 反	繭生産 製 糸 製 織 染色加工 JA なす南管内養蚕農家 松岡(株) (株) 竹林 (株) 千總

次回の純国産絹マーク審査会の予定は次のとおりです。
純国産絹マークの使用許諾を申請される方は、事務局との事前協議を経た上で、下記の提出締切日までに、純国産絹マーク使用許諾申請書を提出してください。

次回審査会 2021 年度第 4 次：2022 年 2 月 21 日（月）
純国産絹マーク使用許諾申請書の提出締切日：2022 年 1 月 25 日（火）

（連絡先）

〒 100-0006

東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

一般財団法人 大日本蚕糸会

担当：岡島、小林、廣瀬

TEL：03-3214-3500 FAX：03-3214-3511

E-mail：岡島：aokajima@silk.or.jp

小林：kobaei@silk.or.jp

廣瀬：hirose_takato@silk.or.jp

一般財団法人大日本蚕糸会から

純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧 2021年12月6日(2021-第3次)現在

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
001	(株) 千總	京都市中京区	後染反物(振袖、訪問着、付下、色無地、色留袖、黒留袖、喪服)、胴裏
002	(株) 織匠田歌	京都市上京区	先染反物、後染帯地
004	(株) 丸上	東京都中央区	後染反物(色無地、小紋、付下、黒紋付)、後染帯地
005	(株) 坂本屋	茨城県土浦市	後染反物(色無地)、胴裏(灰汁浸け加工)
006	(有) 平原	福島県白河市	後染反物(色無地、黒紋付)
007	(株) 信盛堂	東京都清瀬市	後染反物(色無地、黒紋付)
008	(株) きものアイ	新潟県十日町市	後染反物(色無地)
009	(株) 上庵	岩手県北上市	後染反物(色無地、黒紋付)
010	(有) 樹 (いづき)	秋田県横手市	後染反物(色無地、黒紋付)
011	(株) 銀座もとじ	東京都中央区	後染反物(作家作品)、後染帯地、先染反物(大島紬、結城紬、御召、作家作品)、先染帯地(織九寸帯、織角帯、作家作品)、白生地、和装小物(帯締、羽織紐)、八掛、胴裏
012	河瀬満織物(株)	京都市上京区	先染帯地
013	(有) 織匠小平	京都市北区	先染帯地
015	(株) 結華	静岡県清水町	後染反物(色無地、黒紋付)
016	(有) 絹回廊	東京都中央区	後染反物(色無地)
018	(有) 大善屋呉服店	福島県会津若松市	後染反物(色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地(表地)
020	呉服のささき	山形県天童市	後染反物(色無地、黒紋付)
021	日本蚕糸絹業開発協同組合 (絹小沢(株))	群馬県高崎市	裏地(胴裏(ぐんま羽二重、ぐんまレピア、ぐんま 200、灰汁浸加工、トルマリン加工)、八掛、比翼地)、長襦袢地、後染反物(作家作品、紋付地)、白生地(世紀二、上州絹星・ぐんま 200、新小石丸)、後染帯地((冬物・夏物):うるし糸が5%を超えるもの)、寝衣(うぶ着、おくるみ)、和装小物(袱紗)
022	宮階織物(株)	京都市上京区	先染反物、後染反物
023	21世紀の絹を考える会	京都府城陽市	後染反物(色無地、訪問着)、先染帯地(袋帯(草木染、唐織))
024	碓氷製糸農業協同組合	群馬県安中市	白生地、マフラー
025	丸幸織物(有)	京都府京丹後市	白生地
026	織匠万勝	京都市中京区	先染帯地(袋帯、名古屋帯、袋帯:金銀糸が5%を超えるもの)、先染反物(御召類)、後染反物(色無地)、先染帯地(袋帯:金銀糸が5%を超えるもの)
027	(有) 織道染塩野屋	京都府亀岡市	洋装品(マフラー、シャツ、ニット(ウオーマー、腹巻、手袋、靴下))
028	(株) 丸万中尾	滋賀県長浜市	後染反物(江戸小紋、小紋、付下、友禅、色無地、訪問着、留袖、色留袖)、後染帯地、白生地(表地)
029	(株) むらかね	青森県八戸市	後染反物(色無地、黒紋付)
030	(株) 高島屋	大阪市中央区	後染反物(振袖、七五三着物、色無地、訪問着、黒留袖)、白生地(長襦袢地、胴裏)、ニット(靴下)、風呂敷
031	(株) さが美	神奈川県平塚市	後染反物(黒紋付(冬用・夏用)、色無地)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
032	(有) まるけい	静岡県富士市	後染反物 (色無地、黒紋付)
033	(有) 特選呉服専門店後藤	青森県むつ市	後染反物 (色無地、黒紋付)
034	(株) 小いけ	山形県鶴岡市	後染反物 (色無地、黒紋付、小紋)
035	(株) 伊と幸	京都市中京区	後染反物 (色無地、訪問着)、白生地 (表地、胴裏、帯地)、白生地 (表地 (天蚕糸交織))、白生地 (帯地 (天蚕糸交織))、婦人用ブラックフォーマル地、長襦袢
036	(株) 四季のきものおおにし	東京都杉並区	後染反物 (色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地 (表地)
037	(株) 和幸	埼玉県久喜市	後染反物 (色無地、黒紋付)
038	(株) 榊屋高尾	京都市北区	先染帯地 (袋帯)
039	(株) つるや	埼玉県川越市	後染反物 (色無地、黒紋付)、白生地 (表地)
040	(株) 越後屋	千葉県市川市	後染反物 (色無地、黒紋付)
041	(株) 小倉商店	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)、白生地 (結城紬)
042	柳 崇 (染織家 柳崇)	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
043	児玉京子 (染織家 児玉京子)	沖縄県竹富町	先染反物、先染帯地
044	草木染工房山村 山村多栄子	東京都八王子市	先染反物、先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超える)、先染服地、ストール
045	手織りよおん 長嶺亨子	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地、服飾品 (ストール)
046	祝嶺染織研究所	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地
047	(株) 龍工房	東京都中央区	帯締
048	からん工房 深石美穂	沖縄県石垣市	先染反物 (紋紬、紘)、先染帯地
049	たわた工房	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
050	山音 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地 (変三越、駒紬))
051	やまと (株)	京都市下京区	後染反物
053	桜井 (株)	京都市北区	先染帯地
054	有栖川織物 (有)	京都市上京区	先染帯地
055	太田和 (株)	京都市中京区	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
056	(株) 岩田	京都市中京区	先染帯地
057	(有) 神原呉服店	千葉県銚子市	後染反物 (色無地、黒紋付)
058	浅山織物 (株)	京都市北区	先染帯地
059	(株) やまと	東京都渋谷区	先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)、白生地 (加賀友禅用)、先染着尺 (加賀友禅用)、和装小物 (帯揚げ)
060	田中種 (株)	大阪市中央区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、黒紋付、加賀友禅、色無地、すかし織着尺)、後染帯地 (九寸名古屋帯)、ニット (靴下、ネック&ボディ、ショルダー、アーム、タンクトップ、腹巻、手袋、ピロケース、肌襦袢、ネックウォーマー)、真綿布団、ハーフケット、布団カバー
061	(株) 京扇	東京都中央区	後染反物 (色無地)、胴裏 (パールトーン加工)
062	(株) なごみや	横浜市都筑区	後染反物 (色無地、黒紋付)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
063	丸池藤井 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地)、八掛
064	久保商事 (株)	京都市中京区	和装小物 (帯揚、半衿)
065	加賀グンゼ (株)	石川県小松市	胴裏
066	千切屋 (株)	京都市中京区	後染反物 (訪問着、付下)、後染帯地
067	荒川 (株)	京都市下京区	和装小物 (帯締、帯揚)
069	(株) 紅輪 ((株) 紅輪 まるやま・京彩 グループ)	川崎市宮前区	後染反物 (色無地)、白生地 (表地 (紋意匠))
070	装いの道 (株)	東京都千代田区	白生地 (帯地、表地)、胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工、ぐんま 200、新小石丸)
071	(株) 高橋屋	岩手県一関市	胴裏 (灰汁浸加工)
072	おお又 (株)	大阪市旭区	胴裏 (灰汁浸加工)、ニット (靴下)
073	(株) 天野屋呉服店	栃木県小山市	胴裏 (ぐんま 200 (灰汁浸加工))、白生地 (表地)
074	(株) きもの潮見	愛媛県西条市	胴裏 (パールトーン加工)
075	(株) とみひろ	山形県山形市	胴裏 (酵素精練)、白生地
076	(株) 細安	福井県福井市	胴裏 (酵素精練)
077	京和きもの (株)	神奈川県厚木市	胴裏 (酵素精練)
078	(株) まるため	長野県長野市	胴裏 (トルマリン加工、パーリー加工)
079	(株) 小川屋	群馬県前橋市	胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工)
080	(株) エムラ	山口県防府市	胴裏 (酵素精練)
081	(株) 荒井呉服店	東京都八王子市	胴裏 (酵素精練)
082	(株) 牛島屋	富山県富山市	胴裏 (酵素精練)、後染反物 (小紋)
083	(株) 谷呉服店	福岡県筑紫野市	胴裏 (酵素精練)
084	(株) 登美屋	岩手県北上市	胴裏 (パールトーン加工)
085	(株) 川平屋	愛知県豊田市	胴裏 (パールトーン加工)、後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
087	(株) 大丸松坂屋百貨店	東京都江東区	裏地 (胴裏、比翼地 (振袖用))、長襦袢地
088	西陣織工業組合	京都市上京区	マフラー、セーター、カーディガン、ショール、ネクタイ
089	(株) あきやま	宮崎県綾町	先染反物、洋装品 (ショール、マフラー)
090	藤井紋 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地)
092	(有) 結城屋	兵庫県洲本市	白生地 (表地)
093	(株) ウメショウ	岐阜県瑞穂市	白生地 (表地)
095	(有) カシワギ	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (冬用・夏用・合用薄絹ふとん、ブランケット)、洋装品 (スーツ地、ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、シャツ))
097	(株) 平田組紐	東京都豊島区	帯締、帯締 (金銀糸が 5% を超えるもの)、羽織紐 (男物、女物)
098	(株) 菱健	京都市中京区	後染反物 (色無地)
099	西野 (株)	京都市上京区	帯締、帯締 (金銀糸が 5% を超えるもの)
101	(株) 猪井	新潟県長岡市	後染反物 (色無地)、後染帯地
102	(株) たちばな	新潟県新発田市	後染反物 (色無地)、後染帯地

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
103	(株) 丸富美	新潟県十日町市	後染反物 (色無地)
104	(有) 絹もの屋まつなが	新潟県三条市	後染反物 (色無地)
105	(株) 山正山崎	愛知県豊橋市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
106	(有) こくぶん呉服店	福島県福島市	後染反物 (色無地)
107	(株) 染織近藤	岡山市北区	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
108	(株) 宮川呉服店	北海道湧別町	後染反物 (色無地、付下)
109	(株) 和らいふ	札幌市中央区	後染反物 (色無地)
110	(有) きものいなもと	大阪市天王寺区	後染反物 (色無地)
111	(株) 世さね	東京都中央区	後染反物
112	(株) 西陣まいづる	京都市上京区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの)、九寸帯 (金銀糸が5%を超えるもの)、絹九寸帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
113	奥順 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
114	りょうぜん天蚕の会	福島県伊達市	ショール (天蚕紬糸、天蚕ハイブリッド)
115	(有) 金屋	新潟県上越市	後染反物 (色無地)
116	(株) 鶴屋百貨店	熊本市中央区	胴裏 (酵素精練)、先染反物 (結城紬)
117	黄八丈めゆ工房	東京都八丈島	先染反物 (黄八丈)
118	京屋呉服店	長野県塩尻市	後染反物 (色無地)
119	(資) 車屋呉服店	横浜市南区	後染反物 (色無地、江戸小紋)、白生地 (表地)
120	宮崎 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)
121	(有) 内海呉服店 きもの千歳屋	東京都世田谷区	白生地 (表地 (色無地、訪問着))
122	長島繊維 (株)	栃木県足利市	後染反物 (色無地、小紋、付下、訪問着)、後染帯地
123	(株) しょう美	広島市西区	後染反物 (色無地)
124	(資) 治田呉服店	群馬県富岡市	後染反物 (色無地)
125	(株) 丸十	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋)、ニット (靴下)
126	(株) 竹田嘉兵衛商店	名古屋市緑区	胴裏 (酵素精練)
127	(有) 樋口屋京染店	埼玉県鴻巣市	白生地 (表地用 (紋意匠))
128	大門屋	福井県大野市	白生地 (牛首紬)、後染帯地 (牛首紬)、ショール (牛首紬)、先染反物 (飯田紬)、白生地着尺 (信州紬)
129	(株) 加藤萬	東京都中央区	和装小物 (帯揚げ、半衿)
130	(株) しゃらく	愛媛県新居浜市	後染反物 (小紋)
131	(資) 山中商店	名古屋市中区	後染反物 (小紋)
132	きもの処あだち	大阪府藤井寺市	後染反物 (小紋)
133	西川産業 (株)	東京都中央区	寝具寝装品 (掛布団)
134	繭工房華美	宮城県塩竈市	寝衣 (長肌着、短肌着)
136	(株) 和想	鳥取県鳥取市	後染反物 (小紋)
137	(株) 高島屋呉服店	島根県益田市	後染反物 (小紋)
138	富岡シルクブランド協議会	群馬県富岡市	ネクタイ、禪、マフラー (手織り)
139	(株) 丸年呉服店	石川県金沢市	後染反物 (小紋)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
140	(株) 染織館	徳島県徳島市	後染反物 (小紋)
141	(株) 京ろまん	奈良県奈良市	後染反物 (小紋)、ニット (靴下)
142	五嶋 (株)	東京都文京区	帯締
143	(株) わふくや	浜松市中区	長襦袢地
144	(株) 布屋呉服店	静岡県富士宮市	胴裏 (トルマリン加工)、後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
145	(有) 明石屋	東京都調布市	後染反物 (色無地)、後染帯地
146	宮井 (株)	京都市下京区	風呂敷
147	(株) ナカノ	大分県大分市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、加賀友禅)
148	(株) 芦田呉服店	京都府綾部市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
149	(株) 甲斐絹座	山梨県富士吉田市	ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、トランクス)、パジャマ、袱紗
151	(株) 西松屋	兵庫県姫路市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
152	(株) 西尾呉服店	大阪市福島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
153	勝山織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)
154	(有) 石川	群馬県みどり市	後染反物 (型友禅、羽二重色無地)、先染反物 (ジャガード織)
156	那覇伝統織物事業協同組合	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地、かりゆしウェア、服飾品 (ショール)
157	(株) ふじや	福岡県朝倉市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
158	きものおかだ	兵庫県香美町	後染反物 (小紋)
159	(株) J S	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (ふとん、ふとんカバー)、洋装品 (スーツ地、コート地、スカート地、シャツ、ワンピース地)、服飾品 (スカーフ、ストール、ネックカバー、アームカバー、レッグカバー)
160	(株) マルシバ	東京都中央区	裏地 (胴裏)、和装小物 (袱紗)、ネクタイ、帯地 (白塩瀬)
161	(株) みつわ	大阪府大東市	後染反物 (小紋)
162	福紬織物 (株)	福岡市西区	先染帯地 (本袋男帯、八寸名古屋帯)
163	(株) 大谷屋	新潟市中央区	白生地 (表地)
164	(株) 東京藤屋 (きものレディ着付け学院)	東京都品川区	白生地 (表地)
166	近江真綿振興会	滋賀県米原市	寝具寝装品 (布団、膝かけ)、服飾品 (ショール)
167	(株) にしむら	兵庫県西脇市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
168	(有) きものおおにし	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
169	(株) コノエ (そめの近江)	東京都豊島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))、ニット (靴下)
170	(株) つたや	大阪府枚方市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
171	(株) 京呉服小糸伸輔の店	熊本市東区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
172	(株) マエノ	茨城県石岡市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
173	(株) 本きもの松葉	大阪府富田林市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
174	(有) 山田呉服店	長野県諏訪市	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
175	(株) 呉服のながいけ	長崎県南島原市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
176	(株) 京呉服平田	福井県福井市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
177	(株) 布四季庵コネオリ	山形県米沢市	先染反物（置賜紬）、服飾品（ストール）
178	奄美島絹推進協議会	鹿児島県龍郷町	先染反物（大島紬）、先染帯地（大島紬）
179	(株) 宮坂製糸所	長野県岡谷市	先染帯地（八寸名古屋帯）
180	(有) シンセイ	長野県松本市	ニット（腹巻、靴下）
181	(株) 百花	横浜市中区	後染反物（小紋（変一越））
182	京呉服好一（株）	京都市北区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
183	(株) パールトーン	京都市右京区	胴裏（パールトーン加工）
184	きもの専科まさ井	兵庫県三木市	後染反物（小紋（変一越））
185	マテリアル ローブ 磨	東京都練馬区	後染反物（小紋（変一越））
186	(株) せんば呉服	兵庫県尼崎市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠）、訪問着）、先染反物（絰着尺）、後染帯地
187	(株) 三越伊勢丹	東京都新宿区	白生地（表地）、帯締、羽織紐、帯締（金銀糸が5%を超えるもの）、ジャケット地
188	青山きもの（株） （青山きもの学院）	東京都港区	白生地（表地、夏物表地）
189	ニット青木（株）	東京都品川区	ニット（スーツ・パンツ、スーツ・スカート、ジャケット、アンサンブル、インナー）
190	渡豊工房	山形県山辺町	先染反物（綾御召（男物、女物）、市松綾御召（草木染め）、もじり織（草木染）、もじり織）、裏地（紬八掛、駒八掛、紬駒八掛）、服飾品（先染ストール（綾織草木染、もじり織草木染））
191	(株) リンクピース	福岡市博多区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
192	(有) 新宮 （きもの宮下）	宮崎県宮崎市	後染反物（小紋（変一越））
193	アトリエ I T O 伊藤峯子	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
194	遊生染織工房 築城則子	北九州市八幡東区	先染反物
195	杉浦晶子	愛知県高浜市	先染反物、先染帯地
196	(株) 夢工芸染の新井	東京都足立区	白生地（変り縮緬）、先染反物（大島紬）
197	(株) 嵯が野	埼玉県川越市	白生地（変り縮緬）、先染反物（大島紬）
198	(株) カインドウェア	東京都千代田区	服飾品（ストール）、ネクタイ
199	(株) 新田	山形県米沢市	後染反物（ぼかし着尺）
200	(株) ソーホー	京都市下京区	白生地（紋意匠無地縮緬・紋意匠縮緬）、後染反物（本加賀訪問着）、先染反物（大島紬、御召）、先染帯地（袋帯）、先染反物（御召）
201	(株) すずのき	東京都品川区	後染反物（訪問着・色無地）、白生地（表地（紋意匠））
202	メーカーズシャツ鎌倉（株）	神奈川県鎌倉市	ニット（肌着）
203	(株) 丸本岩崎	北海道函館市	裏地（胴裏絹）
204	(株) 緒方商店 （きもの心おがた）	愛媛県八幡浜市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
205	富士新幸（株）	山梨県都留市	真綿布団
206	(有) 浅井ローケツ	京都市右京区	後染反物（色無地・藍染）
207	(有) 呉服のうめね	北九州市小倉北区	白生地（変一越）

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
208	(株) ADESSO (きもの工房一休)	神戸市中央区	白生地 (変一越)
209	森秀織物 (株)	群馬県桐生市	先染反物 (御召)
210	(株) 龍村美術織物	京都市中京区	先染帯地 (本袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
211	(株) 長沼 (長沼静きもの学院)	東京都渋谷区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
212	(株) 国際商事	東京都板橋区	ショール
213	窪田織物 (株)	鹿児島県鹿児島市	先染反物 (大島紬、本場大島紬 12 マルキ)
214	村江菊絵 (菊江) (村江菊絵)	東京都目黒区	先染帯地、先染反物
215	片倉工業 (株)	東京都中央区	ニット (靴下)
216	村田捺染加工 (有)	群馬県桐生市	服飾品 (ストール)
217	(株) 京のきもの綾錦	京都市下京区	後染反物 (訪問着、小紋、色無地)
218	あや工房	沖縄県西原町	先染反物 (首里織)、先染帯地 (首里織)
220	万兵 (株)	名古屋市中区	白生地 (表地)
221	横山 (株)	京都市中京区	後染反物 (小紋・訪問着)
222	(株) カネヒサクリエーション	石川県金沢市	白生地 (表地)
223	柳晋哉	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
224	(株) 一声	京都市下京区	白生地 (表地)
225	(株) ヤマノホールディングス きもの事業本部	東京都渋谷区	後染反物 (小紋・訪問着)、白生地 (帯地)
226	山口美術織物 (株)	京都市山科区	白生地 (表地・羽二重)
227	(株) 大翻	名古屋市中区	セリシン靴下、セリシン手袋
228	(株) 中忠商店	京都市上京区	セリシン靴下、セリシン手袋
229	(株) 帛撰	京都市北区	先染帯地 (名古屋帯、袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
230	(株) 京朋	京都市中京区	白生地 (表地)
231	(有) 綵巧	京都市北区	先染反物 (御召)、先染帯地 (名古屋帯 (組帯))
232	ウライ (株)	京都市下京区	後染反物 (小紋)、後染帯地 (袋帯 (表地のみ))
233	大橋メリヤス	群馬県桐生市	服飾品 (ニットストール)
234	宮田織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
235	(有) 中彦	京都市上京区	先染反物 (御袷 (五条袷))
236	大月俊幸	長野県安曇野市	先染帯地 (名古屋帯)、先染着尺 (信州紬)
237	久保原由佳理	長野県安曇野市	先染帯地 (名古屋帯)、先染着尺 (信州紬)
238	(株) やしま	広島県広島市	白生地 (表地 (紋意匠))
239	(株) 長谷川	京都市上京区	先染反物 (西陣お召)
240	永見 (株)	鳥取県米子市	白生地 (表地 (紋意匠))
241	京都和装 (株)	京都市下京区	白生地 (表地 (紋意匠))
242	(株) 前田源商店	山梨県富士吉田市	服飾品 (スカーフ、ストール)
243	近江真綿工房 原田	滋賀県米原市	寝具寝装品 (真綿ふとん (国産近江真綿ふとん))
244	昭和西川 (株)	東京都中央区	寝具寝装品 (真綿ふとん)
245	大迫織物 (株)	鹿児島県鹿児島市	先染反物 (大島紬)

月日	活 動 内 容 等
10/7	第3回蚕糸絹提携自立化支援事業審査会 (WEB 会議)
10/8	シルク・サミット 2021 in 愛媛 (WEB 開催)
11/4	全国シルクビジネス協議会幹事会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
11/5	若手農家との意見交換会 (WEB 会議)
11/17	「きものの日」オンラインシンポジウム ～国産生糸が紡ぐ「きもの」の物語～
11/27 ~ 29	伝統工芸ふれあい広場・愛知への協力 (愛知県)
11/29	純国産絹マーク審査会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
12/10	全国シルクビジネス協議会蚕糸分科会会議 (WEB 会議)

第10回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクールの出品を募集

第10回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクールを下記のとおり実施します。このコンクールは、令和4年度(第61回)農林水産祭参加行事です。

なお、昨年度から農福連携グループも対象とするなど、参加資格を緩和しましたので、積極的な応募をお願いします。

記

1 開催の目的

蚕糸絹産業や絹文化の維持継承とその活性化を図るため、純国産絹製品の生産販売活動に携わっている蚕糸絹業提携グループ、養蚕農家又は農家団体に加え、新たな取り組みを行うグループ等を表彰し、その活動と成果を広く紹介して蚕糸絹業の発展に資する。

2 応募方法・応募先

応募は、出品財として「提携グループ等」、「構成農家等」の何れかを選択し、蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール事務局宛に、各県蚕糸主務課又は各県蚕糸絹文化活性化推進協議会事務局等を通じて、ご応募をお願いします。

3 応募期間 令和4年2月1日～令和4年3月15日まで

4 審査・表彰日 審査会 令和4年4月初旬

表彰式 令和4年5月中旬

表彰場所 東京都千代田区有楽町 蚕糸会館

5 表彰内容 農林水産大臣賞1点、農林水産省農産局長賞1点

一般財団法人大日本蚕糸会会頭賞3点以内

6 審査員 一般財団法人大日本蚕糸会事業審査委員会の審査員

7 主催者 一般財団法人大日本蚕糸会

(問い合わせ先)

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-9-4 蚕糸会館

一般財団法人大日本蚕糸会

蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール事務局

担 当 : 廣瀬隆登、小林栄一

T E L : 03-3214-3500

E-mail : kobaei@silk.or.jp(小林栄一)

蚕糸絹関係博物館一覧

名 称	〒	住 所	電 話
一般財団法人北海道開拓の村	004-0006	北海道札幌市厚別区厚別町小野幌 50-1	011-898-2692
ひころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16	0238-22-8141
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 87	0238-23-3525
夕鶴の里資料館 語り部の館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025 - 2	0238-47-5800
松ヶ岡開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ岡 29	0235-62-3985
公益財団法人致道（ちどう）博物館	997-0036	山形県鶴岡市家中新町 10 - 18	0235-22-1199
酒田市美術館	998-0055	山形県酒田市飯森山三丁目 17 - 95	0234-31-0095
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
結城市伝統工芸館	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018 - 1	0296-32-7949
紬の里	307-0001	茨城県結城市結城 2515	0296-32-8002
本場結城紬郷土館	307-0000	茨城県結城市浦町 116	0296-32-2121
本場結城紬染織資料館「手緒里」	307-0001	茨城県結城市結城 12-2	0296-33-3111
佐野市郷土博物館	327-0003	栃木県佐野市大橋町 2047	0283-22-5111
おやま本場結城紬クラフト館	323-0023	栃木県小山市中央町 3-7-1 ロブレビル 1F	0285-32-6477
足利織物伝承館	326-0814	栃木県足利市通 3-2589	0284-22-3004
足利まちなか遊学館	326-0814	栃木県足利市通 1-2673-1	0284-41-8201
足利織姫神社	326-0817	栃木県足利市西宮町 3889	0284-22-0313
那須野が原博物館	329-2752	栃木県那須塩原市三島 5 - 1	0287-36-0949
高崎市歴史民俗資料館	370-0027	群馬県高崎市上滝町 1058	027-352-1261
群馬県立歴史博物館	370-1293	群馬県高崎市綿貫 992 - 1（群馬の森公園内）	027-346-5522
おかいこステーション	370-3401	群馬県高崎市倉渕町権田 5344 - 1235	027-340-6060
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
富岡製糸場	370-2316	群馬県富岡市富岡 1 - 1	0274-64-0005
群馬県立世界遺産センター	370-2316	群馬県富岡市富岡 1450 - 1	0274-67-7821
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地（敷島公園バラ園内）	027-231-9875
織物参考館“紫（ゆかり）”	376-0034	群馬県桐生市東 4 丁目 2 番 24 号	0277-45-3111
桐生織物記念館（桐生織物協同組合）	376-0044	群馬県桐生市永楽町 6 - 6	0277-43-2510
コノドント館みどり市大間々博物館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
たくみの里	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-2211
群馬県立世界遺産センター（セカイト）	370-2316	群馬県富岡市富岡 1450-1	0274-67-7821
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
ちちぶ銘仙館	368-0032	埼玉県秩父市熊木町 28-1	0494-21-2112
秩父ふるさと館	368-0044	埼玉県秩父市本町 3-1	0494-23-7300
きもの芸術館（一般財団法人国際文化きもの学会）	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8 清水学園ビル 6F ～ 8F	03-3400-0286
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3 - 22 - 7	03-3299-2387
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3 - 26 - 2	0424-81-7656
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2 - 24 - 16	042-388-7163
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鍵水 989 - 2	0426-76-4064

名 称	〒	住 所	電 話
桑都日本遺産センター 八王子博物館	192-0904	八王子市子安町 4-7-1 サザンスカイトワー 3 階	042-622-8939
町田市立博物館	194-0032	東京都町田市本町田 3562	042-726-7531
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市羽 741	042-558-2561
シルク博物館	231-0023	横浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内	045-641-0841
神奈川県立歴史博物館	231-0006	横浜市中区南仲通 5-60	045-201-0926
相模田名民家資料館	229-1124	相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)	042-761-7118
小千谷織物工房 小千谷織物同業協同組合	947-0028	新潟県小千谷市城内 1-8-25 小千谷市総合産業会館サンプラザ内	0258-83-2329
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1 - 8 - 25	0258-83-4800
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
塩沢つむぎ記念館 (織の文化館)	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227 - 14	0257-82-4888
白山工房 (織りの資料館)	920-2501	石川県白山市白峰村ヌ 17	076-259-2859
はたや記念館ゆめおーれ勝山	911-0802	福井県勝山市昭和町 1 - 7 - 40	0779-87-1200
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619 - 1	055-269-3399
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内	026-245-0407
常田館 (絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1 - 10 - 3 笠原工業 (株) 内	0268-22-1230
繊維学部資料館	386-8567	長野県上田市常田 3-15-1 信州大学繊維学部内	0268-21-5454
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内)	0268-22-1274
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564 - 1	0268-42-2158
絹糸紡績資料館	386-0498	長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ (株) 内	0268-41-1800
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
日本司法博物館 (松本歴史の里)	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196 - 1	0263-47-4515
岡谷蚕糸博物館 (シルクファクトおかや)	394-0021	長野県岡谷市郷田 1 丁目 4 番 8 号	0266-23-3489
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618 - 24	0263-83-3835
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299 - 1	0574-28-1110
石川繊維資料館	400-0886	愛知県豊橋市東小田原町 109 - 1	0532-52-5265
豊田市稲武郷土資料館ちゅーま	441-2524	愛知県豊田市黒田町南水別 713	0565-82-3439
豊橋市民俗資料収蔵室	440-0021	愛知県豊橋市多米町滝の谷 34-1-1	0532-63-2026
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204 - 1	059-293-0010
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514	0749-37-4131
織物文化館	601-1123	京都市左京区静海市原町 265 川島織物セルコン内	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
(公財) 手織技術振興財団・織成館	602-8482	京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地	075-431-0020
千總ギャラリー	604-8166	京都市中京区御倉町 80 番地千總本社ビル 2 階	075-211-2531
絹の白生地資料館	604-8176	京都市中京区龍池町 448 - 2 伊と幸ビル	075-254-5884
まゆ村	616-8384	京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564
グンゼ博物苑	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ (株) 周辺敷地内	0773-43-1050

名 称	〒	住 所	電 話
織元田勇	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112 田勇機業（株）内	0772-72-0307
上垣守国（うえがきもりくに）養蚕記念館	667-0321	兵庫県養父市大屋町蔵垣 246 - 2	079-669-1580
デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)	651-0082	神戸市中央区小野浜町 1-4	078-325-2201
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町越知甲 1577 番地	0889-26-1002
藤村製絲記念館	781-6402	高知県安芸郡奈半利町乙 2630	0887-38-4711
美馬蚕糸会館	771-2107	徳島県美馬市美馬町谷口 5-1	0883-63-2502

蚕糸絹関係機関ホームページ一覧

【行政】

農林水産省
経済産業省

<http://www.maff.go.jp>
<http://www.meti.go.jp>

【蚕糸絹業関係団体】

(一財) 大日本蚕糸会
(一財) 大日本蚕糸会 ジャパンシルクセンター
(一社) 日本絹人繊維物工業会
(一財) 日本真綿協会
丹後織物工業組合
西陣織工業組合
TAFS (東京織物卸商業組合)
KOMOS (京都織物卸商業組合)
(公財) 京都和装産業振興財団
(一財) 伝統的工芸品産業振興協会
蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会

<http://www.silk.or.jp>
<http://www.silk-center.or.jp>
<http://www.kinujinsen.com>
<http://www.mawata.or.jp>
<http://www.tanko.or.jp>
<http://www.nishijin.or.jp>
<http://www.tafs.or.jp>
<http://www.fashion-kyoto.or.jp>
<http://www.wasou.or.jp/wasou/index.html>
<http://www.kougeihin.jp>
<http://takaraginu.com>

【大学・試験研究機関】

(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 <http://www.naro.affrc.go.jp>
(国) 北海道大学応用分子生物学分野応用分子昆虫学研究室 <http://www.agr.hokudai.ac.jp/rfoa/abs/abs2-1.html>
(国) 岩手大学農学部生命資源科学コース応用昆虫研究室 <http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/department2/agri/life.html>
(国) 宇都宮大学農学部分子昆虫学研究室 <http://shigen.mine.utsunomiya-u.ac.jp/insectbiotechnology/>
(国) 東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室 <http://papilio.ab.a.u-tokyo.ac.jp/igb/index-J.html>
(国) 東京農工大学農学部生物生産学科蚕学研究室 <http://www.tuat.ac.jp/~kaiko>
(国) 東京農工大学工学部生命工学科 <http://www.tuat.ac.jp/~seimei>
(国) 名古屋大学農学部 <http://www.agr.nagoya-u.ac.jp>
(国) 信州大学繊維学部 <http://www.tex.shinshu-u.ac.jp>
(国) 京都工芸繊維大学工芸科学部応用生物学課程 <http://www.bio.kit.ac.jp>
(国) 鳥取大学農学部生物資源環境学科昆虫機能学教育研究分野 <http://muses.muses.tottori-u.ac.jp>
(国) 山口大学農学部生物資源環境科学府蚕学研究室 <http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/bioenvi/research2.html>
(国) 九州大学大学院生物資源環境科学府蚕学研究室 <http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/sangaku>
(国) 九州大学大学院農学研究院遺伝子資源開発研究センター家蚕遺伝子開発分野 <http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/sanshi/insect/top.html>
群馬県蚕糸技術センター <http://www.pref.gunma.jp/07/p14710007.html>
群馬県繊維工業試験場 <http://www.pref.gunma.jp/07/p20210013.html>
京都府織物・機械金属振興センター <http://www.pref.kyoto.jp/oriki>
(地独) 京都市産業技術研究所 <http://www.tc-kyoto.or.jp>
(公財) 衣笠繊維研究所 <http://krf-textile.com>
(一財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学技術研究所 <http://www.silk.or.jp>

【学会】

日本シルク学会 <http://jsst.sakura.ne.jp>
(一社) 日本蚕糸学会 <http://jsss.or.jp>
日本野蚕学会 <http://jswsmo.appspot.com>

【博物館】

(一財) シルクセンター-国際貿易観光会館 シルク博物館 <https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum>
群馬県立日本絹の里 <http://www.nippon-kinunosato.or.jp>
愛媛県西予市野村シルク博物館 <http://www.city.seiyo.ehime.jp/soshiki/silkmuseum>
東京農工大学科学博物館 <http://www.tuat.ac.jp/~museum>

【博物館】

駒ヶ根シルクミュージアム
織成館（京都市上京区）
高崎市染料植物園
群馬県立歴史博物館
岡谷蚕糸博物館（シルクファクトおかや）
はたや記念館ゆめおーれ勝山
美馬蚕糸館

<http://komagane-silk.com/>
<http://orinasukan.skr.jp>
<http://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2014011400979>
<http://grekisi.pref.gunma.jp>
<http://silkfact.jp>
<http://www.city.katsuyama.fukui.jp/hataya>
<https://mimasanshikan.wixsite.com/mimasanshikan>

【富岡製糸場と絹産業遺産群】

富岡製糸場
群馬県立世界遺産センター
ぐんま絹遺産
上毛新聞社関連記事

<http://www.tomioka-silk.jp/hp/index.html>
<https://worldheritage.pref.gunma.jp/whc/>
<http://worldheritage.pref.gunma.jp/kinuisan>
http://jomo-news.co.jp/ns/series/silk_index.html

蚕の一生



協力:シルク博物館

一般財団法人 大日本蚕糸会

統計資料の年間掲載計画

＜国内＞	1月号	4月号	7月号	10月号
(1) 蚕糸絹業の概要	○	○	○	○
(2) 養蚕農家数	○	○	○	○
(3) 繭生産数量の推移	○	○	○	○
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数		○		
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量		○		
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移		○		
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	○	○	○	○
(8) 生糸の織度別生産数量の推移		○		○
(9) 絹需給の推移(生産量換算試算)	○	○	○	○
(10) 品目別・二次製品輸入数量(生糸量換算試算)		○		
(11) 製糸工場の原料繭需給	○	○	○	○
(12) 製糸工場の操業状況	○	○	○	○
(13) 生糸在庫数量の内訳	○	○	○	○
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況		○		
(15) 生糸の原産国別輸入数量		○		○
(16) 絹糸の原産国別輸入数量		○		○
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価		○		○
(18) 絹織物生産数量	○	○	○	○
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	○	○	○	○
＜海外＞				
(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	○	○	○	○
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量		○		
(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	○	○	○	○

統計資料目次

<国内>

(1) 蚕糸絹業の概要	46
(2) 養蚕農家数の推移	47
(3) 繭生産数量の推移	48
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数	
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量	
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移	
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	49
(8) 生糸の織度別生産数量の推移	
(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）	50
(10) 品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）	
(11) 製糸工場の原料繭需給	51
(12) 製糸工場の操業状況	52
(13) 生糸在庫数量の内訳	53
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況	
(15) 生糸の原産国別輸入数量	
(16) 絹糸の原産国別輸入数量	
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価	
(18) 絹織物生産数量	54
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	55

<海外>

(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	57
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量	
(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	58

一 資料・国内一

(1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

項目 item 暦年 Calendar Year	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家 戸数 Number of Silk- Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人織機 設備台数 (保有台数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production
	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq. meters
2000	3,280	1,244	379	9.3	8	67	62.9	32,275
2001	2,730	1,031	378	7.2	8	63	56.8	29,801
2002	2,360	880	373	6.5	17	68	51.2	26,826
2003	2,070	780	377	4.8	14	64	48.7	23,935
2004	1,850	683	369	4.4	13	62	45.6	21,895
2005	1,591	626	393	2.5	10	62	43.7	19,816
2006	1,345	505	375	2.0	9	82	41.6	18,507
2007	1,169	433	370	1.8	8	83	40.0	15,466
2008	1,021	382	374	1.6	6	80	38.1	14,043
2009	915	327	357	1.2	6	60	33.6	9,955
2010	756	265	351	0.9	7	49	35.9	3,611
2011	627	220	351	0.7	7	52	34.7	3,152
2012	571	202	354	0.5	7	35	33.3	2,912
2013	486	168	346	0.4	9	35	32.0	2,940
2014	393	149	379	0.4	9	35	—	2,734
2015	368	135	367	0.4	8	30	—	2,316
2016	349	130	372	0.3	8	26	—	2,243
2017	336	125	372	0.3	8	28	—	2,195
2018	293	110	375	0.3	8	46	—	2,113
2019	264	92	348	0.3	8	36	—	1,939
2020	228	80	351	0.2	8	31	—	1,214
前年比(%) 2020/2019	86.4	87.0	100.7	66.7	100.0	86.1	—	62.6

資料 ・ 2008年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。

・ 2009年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び(一財)大日本蚕糸会調査、2011年以降は(一財)大日本蚕糸会調査である。

・ 2009年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会調査、2018年11月以降は(一財)大日本蚕糸会調査である。

・ 2008年以前の絹業は経済産業省調査であり、2009年以降絹業は(一社)日本絹人織織物工業会調査である。

(注) 2006年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。

(注) 製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、2002年以降はすべての製糸工場のものである。

Source: ・ Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)

・ National Federation of Agricultural Co-operative Associations and the Dainippon Silk Foundation

(Sericultural Industry, after 2009). The Dainippon Silk Foundation (after 2011)

・ Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (Silk-Reeling, after 2009)

The Dainippon Silk Foundation (after Nov. 2018)

・ The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric, before 2008). Japan Silk & Rayon Weaver's Association (after 2009)

Note: Silk Fabric Production from 2006 includes spun silk fabrics.

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills. (After 2002, all reeling mills)

(2) 養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位：戸)

(Unit: number)

項 目 年 間 春 蚕 初秋蚕 晩秋蚕 暦 年 Annual total Spring silk-worm Early autumn silk-worm Late autumn silk-worm	Item	Annual total	Spring silk-worm	Early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm
2000		3,280	2,970	2,170	2,700
2001		2,730	2,410	1,870	2,270
2002		2,360	1,992	1,720	1,918
2003		2,070	1,875	1,503	1,751
2004		1,850	1,621	1,371	1,551
2005		1,591	1,420	1,061	1,345
2006		1,345	1,215	852	1,102
2007		1,169	1,052	726	988
2008		1,021	929	613	857
2009		915	814	647	755
2010		756	650	494	637
2011		627	562	358	531
2012		571	514	319	462
2013		486	422	260	399
2014		393	359	230	328
2015		368	323	221	313
2016		349	310	209	310
2017		336	307	201	280
2018		293	254	179	262
2019		264	233	153	224
2020		228	204	129	188
前年比(%)					
2020/2019		86.4	87.6	84.3	83.9

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年）（一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source: The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(3) 繭生産数量の推移 Cocoon Production

項 目 Item 暦 年 Calendar Year	年 計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm			
	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
	t	t	t	t	kg	kg	kg	kg
2000	1,244	500	320	424	379	169	148	157
2001	1,031	391	275	365	378	162	147	161
2002	880	330	231	320	373	166	134	167
2003	775	313	210	253	374	167	140	144
2004	675	256	176	243	369	158	128	157
2005	626	243	165	218	396	171	156	162
2006	505	209	122	173	375	172	143	157
2007	433	175	110	148	371	166	152	150
2008	382	147	96	139	374	158	157	162
2009	327	124	85	118	357	152	131	156
2010	265	107	60	98	351	165	121	154
2011	220	95	49	76	351	169	136	143
2012	202	79	50	73	354	155	156	159
2013	168	61	41	67	346	145	158	168
2014	149	55	36	58	379	153	157	176
2015	135	49	32	54	368	151	147	174
2016	130	47	32	50	372	153	155	162
2017	125	47	29	49	372	153	144	175
2018	110	41	24	46	375	161	134	176
2019	92	35	22	35	355	153	144	158
2020	80	31	19	30	350	151	148	158
前年比 (%) 2020/2019	87.0	88.6	86.4	85.7	98.5	98.8	102.9	99.8
2020年 構成比 (%)	100.0	38.8	23.8	37.5				

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年） （一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source：The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply / Demand Balance and Import/Export of Silk Yarn and Silk Fabric

項 目 Year & Month	生 糸 Raw Silk					絹 糸 Silk Yarn		絹 織 物 Silk Fabrics	
	生産数量 Production (A)	輸入数量 Imports (B)	輸出数量 Exports (C)	国内引渡 数量 Domestic Deliveries (D)	期末在庫 数量 Ending Stocks (E)	輸入数量 Imports (F)	輸出数量 Exports (G)	輸入数量 Imports (H)	輸出数量 Exports (I)
暦 年 Calendar Year	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
2010	882	12,207	595	13,220	3,329	16,306	324	8,930	6,302
2011	731	9,323	578	10,349	2,456	17,526	427	8,422	6,229
2012	506	10,032	419	10,274	2,180	16,179	320	7,218	5,545
2013	409	9,332	292	9,919	1,712	15,844	426	6,662	5,431
2014	446	8,235	14	8,726	1,653	14,820	330	6,098	5,125
2015	378	6,479	0	7,194	1,410	14,051	302	5,468	5,085
2016	317	6,548	0	6,869	1,406	12,094	177	5,207	4,940
2017	339	7,560	1	7,557	1,747	14,560	245	4,897	4,785
2018	339	5,038	1	5,793	1,330	11,092	213	4,151	4,854
2019	269	4,852	4	5,018	1,429	10,920	165	3,893	4,750
2020	203	2,443	0	3,009	1,066	6,226	167	2,551	3,635
2019 - 1	25	382	0	382	1,355	855	18	486	362
2	27	358	3	399	1,338	644	16	172	365
3	26	870	0	710	1,524	920	5	266	484
4	18	1	1	264	1,278	937	23	305	444
5	19	595	0	464	1,428	1,033	19	310	369
6	22	301	0	307	1,444	834	8	359	389
7	23	392	0	418	1,441	922	14	395	417
8	11	427	0	430	1,449	1,104	12	280	378
9	28	390	0	496	1,371	932	8	325	380
10	21	386	1	301	1,476	911	12	278	406
11	24	446	0	530	1,416	974	12	330	404
12	25	304	0	316	1,429	855	19	387	351
2020 - 1	20	549	0	588	1,410	1,178	15	341	275
2	23	124	0	166	1,391	303	41	139	378
3	19	682	0	750	1,342	962	37	262	398
4	23	—	0	134	1,231	662	15	233	307
5	16	280	0	242	1,285	854	10	244	223
6	14	209	0	146	1,362	422	3	169	227
7	15	24	0	97	1,304	283	11	256	268
8	11	55	0	100	1,270	249	4	121	239
9	9	73	0	151	1,201	308	4	214	333
10	16	101	0	142	1,176	215	7	181	346
11	15	63	0	149	1,105	305	11	247	333
12	22	283	0	344	1,066	487	9	146	308
2021 - 1	11	123	0	141	1,059	428	6	273	286
2	14	118	0	175	1,016	504	4	199	299
3	16	371	0	414	989	339	7	223	379
4	12	5	0	121	885	451	5	253	363
5	12	506	0	479	924	460	20	202	351
6	13	178	0	200	915	619	13	251	377
7	13	266	0	303	891	772	12	242	281
8	12	244	0	234	913	585	9	188	198
9	12	389	0	470	844	433	9	251	231
10	219	219	0			451	14	216	390

資料：(A) (C) (D) (E) 農林水産省生産局（～2010.3） 中央蚕糸協会及び日本生糸問屋協会（2010.4～2012.11）

中央蚕糸協会（2012.12～2018.10） （一財）大日本蚕糸会（2018.11～） (B) (F) (G) (H) (I) 財務省関税局

備考：1. 国内引渡数量(D) = {前月在庫数量+(A)+(B)} - {(C)+(E)}。

2. kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

3. (D) と (E) は2012年11月までと同年12月以降調査方法が変更したため連続性はない。

Source：(A) (C) (D) (E) The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

（～2010.3）、Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (2010.4～2012.11)、

Central Raw Silk Association (2012.12～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

(B) (F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：1. Domestic deliveries (D) = {Stock at end of the previous month + (A) + (B)} - {(C) + (E)}.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)

(Unit: 1,000Bales of 60kg)

項目 Item 曆年 Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④							期末
	期初 在庫 Opening Stocks	生 産 Produc- tion	輸 入 Import						輸 出 Export					内 需	在庫 Ending Stocks ④	
			計 Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second		計 ③ Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second	Domestic Demand ②-③		
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2001	350	113	7	230	30	23	25	152	237	17	0	0	15	2	220	113
2002	366	113	7	246	32	28	24	162	261	18	0	0	16	2	243	105
2003	361	105	5	251	31	33	25	162	261	20	2	0	17	1	241	100
2004	353	100	4	249	26	30	25	168	268	30	11	0	18	1	238	85
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2006	334	84	2	248	20	32	24	172	257	22	0	1	20	1	235	77
2007	293	77	2	214	13	19	21	161	222	21	0	1	18	2	201	71
2008	276	71	2	203	15	23	20	145	213	16	0	0	15	1	197	63
2009	237	63	1	173	12	16	15	130	190	16	0	0	15	1	174	47
2010	225	47	1	177	12	16	16	133	182	16	0	0	15	1	166	43
2011	227	43	1	183	9	18	14	142	180	16	0	0	15	1	164	47
2012	230	47	1	182	10	16	14	142	184	15	0	0	14	1	169	46
2013	248	46	0	202	9	16	13	164	203	14	0	0	13	1	189	45
2014	225	45	0	180	8	15	12	145	180	14	0	0	13	1	166	45
2015	221	45	0	176	6	14	11	145	176	17	0	0	12	5	159	45
2016	240	45	0	195	7	12	14	162	195	15	0	0	9	6	180	45
2017	239	45	0	194	8	15	9	162	194	21	0	0	11	10	172	45
2018	205	45	0	160	5	11	8	135	160	26	0	0	10	16	134	45
2019	206	45	0	161	5	11	8	137	161	25	0	0	10	15	136	45
2020	182	45	0	137	2	6	6	123	137	27	0	0	8	19	110	45
前年比 (%) 2020/ 2019	88	100	—	85	41	55	75	90	85	107	—	—	80	127	81	100

資料：蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報

備考：2013年から期末在庫を45千俵とする。

Source: "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics"

(11) 製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills

(単位：生繭. t)

(Unit: Ton by fresh weight)

年 月 Year & Month	項 目 Item	総 計 Grand Total		
		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year				
2010		240	299	263
2011		189	162	237
2012		185	209	183
2013		142	137	188
2014		128	158	158
2015		116	159	115
2016		115	110	120
2017		103	120	103
2018		92	117	78
2019		89	97	70
2020		72	73	69
2019 -	1	2	9	71
	2	0	10	61
	3	0	9	52
	4	0	7	45
	5	0	7	38
	6	18	8	48
	7	13	8	53
	8	14	4	63
	9	0	9	54
	10	22	8	68
	11	16	9	75
	12	4	9	70
2020 -	1	0	7	63
	2	0	8	55
	3	0	7	47
	4	1	8	40
	5	0	5	35
	6	14	5	44
	7	12	5	51
	8	13	5	59
	9	3	3	59
	10	24	6	77
	11	5	6	76
	12	1	8	69
2021 -	1	0	4	65
	2	0	4	60
	3	0	5	54
	4	0	4	50
	5	0	4	46
	6	14	5	55
	7	6	5	56
	8	10	5	61
	9	3	5	59

資料：農林水産省生産局（～2010. 3） 中央蚕糸協会及び（社）日本生糸問屋協会（2010. 4～2012. 11）

中央蚕糸協会（2012. 12～2018. 10） （一財）大日本蚕糸会（2018. 11～）

備考：1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries（～2010. 3）.

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association（2010. 4～2012. 11）.

Central Raw Silk Association（2012. 12～2018. 10）. The Dainippon Silk Foundation（2018. 11～）

Remarks：1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

2. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).

(12) 製糸工場の操業状況
Activities of Reeling Mills

年 月 Year & Month	項 目 Item	運転工場数	設 備 数(台) Reeling Machines		運 転 率 (%)	操業日数	従業者数
		Operating Reeling Mills	運転可能 Operable	運 転 Operating	Operating Ratio	Days Operated	Number of Workers
暦 年 Calendar Year							
	2010	7	118	58	49	247	73
	2011	7	110	57	52	252	65
	2012	7	110	39	35	243	56
	2013	9	110	38	35	249	57
	2014	9	110	38	35	261	58
	2015	8	110	33	30	263	53
	2016	8	110	29	26	267	55
	2017	8	110	31	28	266	59
	2018	8	74	34	46	253	57
	2019	8	74	27	36	239	51
	2020	8	74	23	31	218	48
2019 -	1	7	74	36	49	20	56
	2	6	74	36	49	20	52
	3	7	74	34	46	21	56
	4	6	74	21	28	20	42
	5	6	74	19	26	21	42
	6	7	74	26	35	21	45
	7	7	74	23	31	18	46
	8	7	74	14	19	17	45
	9	7	74	32	43	21	51
	10	8	74	28	38	20	54
	11	8	74	31	42	20	54
	12	7	74	28	38	20	51
2020 -	1	7	74	32	43	19	50
	2	7	74	26	35	20	49
	3	7	74	27	36	22	49
	4	7	74	29	39	20	50
	5	7	74	27	36	15	50
	6	8	74	19	26	14	53
	7	8	74	17	23	22	52
	8	6	74	17	23	14	38
	9	6	74	15	20	19	37
	10	6	74	9	12	22	37
	11	7	74	27	36	14	48
	12	7	74	28	38	17	48
2021 -	1	6	74	16	22	14	38
	2	6	74	21	28	14	38
	3	6	74	21	28	18	35
	4	6	74	15	20	16	35
	5	6	74	13	18	15	35
	6	7	74	12	16	22	37
	7	7	74	12	16	22	37
	8	7	74	7	9	17	37
	9	7	74	12	16	18	43

資料：農林水産省生産局(～2010.3) 中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～2012.11)

中央蚕糸協会(2012.12～2018.10) (一財)大日本蚕糸会(2018.11～)

備考：1. 設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。

3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～).

Central Raw Silk Association(2012.12～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

Remarks：1. The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.

2. Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.

3. Number of workers are those on payroll as of end of period.

(13) 生糸在庫数量の内訳

Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位：60kg俵)

(Unit: Bales of 60kg)

項目 Item	計 Total	製糸工場 Filatures Mills	生糸市場外 売買業者 Domestic Dealers	生糸輸出 入業者 Ex and Importers
年 月 Year & Month				
暦 年 Calendar Year				
2010	3,329	319	2,354	656
2011	2,456	288	1,651	517
2012	2,180	124	2,056	
2013	1,712	110	1,602	
2014	1,653	78	1,575	
2015	1,410	94	1,316	
2016	1,406	130	1,276	
2017	1,747	156	1,591	
2018	1,330	230	1,100	
2019	1,429	238	1,191	
2020	1,066	178	888	
2019 - 1	1,355	230	1,125	
2	1,338	246	1,092	
3	1,524	239	1,285	
4	1,278	236	1,042	
5	1,428	239	1,189	
6	1,444	245	1,199	
7	1,441	242	1,199	
8	1,449	238	1,211	
9	1,371	239	1,132	
10	1,476	233	1,243	
11	1,416	238	1,178	
12	1,429	238	1,191	
2020 - 1	1,410	196	1,214	
2	1,391	178	1,213	
3	1,342	178	1,164	
4	1,231	186	1,045	
5	1,285	194	1,091	
6	1,362	181	1,181	
7	1,304	181	1,123	
8	1,270	180	1,090	
9	1,201	170	1,031	
10	1,176	166	1,010	
11	1,105	168	937	
12	1,066	178	888	
2021 - 1	1,059	182	877	
2	1,016	183	833	
3	989	189	800	
4	885	183	702	
5	924	186	738	
6	915	186	729	
7	891	184	707	
8	913	185	728	
9	844	182	662	

資料：農林水産省生産局(～2010.3) 中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～2012.11)

中央蚕糸協会(2012.12～2018.10) (一財)大日本蚕糸会(2018.11～)

Source: The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～2012.11).

Central Raw Silk Association (2012.12～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

(18) 絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics

(単位 : 1,000m²)

(Unit : 1,000sq. meters)

品 種 Type of Fabrics 年 月 Year & Month	総 数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics							
		広 巾 織 物 Double Width				小 巾 織 物 Single Width			その他の 後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics
		計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	
暦 年 Calendar Year									
2010	3,611	1,379	871	66	442	1,538	630	908	694
2011	3,152	1,438	786	62	591	1,003	562	441	711
2012	2,912	1,357	738	54	565	879	429	449	677
2013	2,940	1,428	813	46	569	809	397	412	703
2014	2,734	1,441	803	40	599	665	298	367	628
2015	2,316	1,228	664	35	529	630	283	347	458
2016	2,243	1,191	620	38	533	603	266	337	449
2017	2,195	1,185	639	50	497	587	272	315	422
2018	2,113	1,151	619	45	487	578	272	306	384
2019	1,939	1,128	583	43	502	521	242	279	290
2020	1,214	697	460	15	222	364	169	195	153
2019 - 1	156	89	46	4	39	41	19	22	26
2	171	97	52	4	42	45	22	22	29
3	163	92	52	4	36	45	22	24	26
4	175	100	55	3	42	46	23	23	29
5	175	107	50	3	55	44	20	24	24
6	166	95	50	4	41	46	21	25	26
7	164	95	50	4	41	44	21	23	25
8	135	78	41	4	33	38	17	21	19
9	149	85	44	3	38	41	18	24	23
10	163	96	49	3	44	45	21	24	22
11	166	100	47	4	50	45	20	24	21
12	156	94	48	3	43	42	19	23	20
2020 - 1	132	75	42	2	31	37	16	21	19
2	136	75	43	2	29	40	19	21	21
3	145	81	48	2	31	43	19	24	22
4	136	78	44	2	31	40	20	20	18
5	102	64	37	1	26	24	12	13	13
6	99	64	33	2	29	25	11	14	11
7	103	69	33	0	35	25	11	14	9
8	89	59	32	0	27	21	9	12	9
9	102	64	35	0	28	27	14	14	12
10	106	66	36	1	29	27	12	15	13
11	111	74	38	1	34	28	12	15	9
12	116	74	37	1	35	29	12	17	13
2021 - 1	87	56	38	1	18	22	6	16	9
2	91	59	40	0	18	23	7	16	9
3	95	57	43	1	13	26	7	19	12
4	103	64	50	0	13	26	8	18	14
5	105	71	48	1	22	24	8	16	11
6	119	79	51	0	28	26	8	18	14
7	106	69	52	1	16	26	7	19	10
8	93	58	46	0	12	24	7	17	11
9	108	69	53	1	15	25	7	18	13
10	115	75	54	1	21	25	8	17	14

資料 : (一社) 日本絹人織織物工業会(～2020.6) 経済産業省生産動態統計 (2020.8～)

備考 : 絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association(～2020.6).Ministry of Economy,Trade,and Industry,Current Production Statistics(2020.8～)

Remarks : Spun and mixed fabrics included .Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項 目 Item 年 月 Year & Month	絹織物生産数量 Silk Fabrics Production		丹 後 Tango (白生地) (White Fabrics)		長 浜 Nagahama (白生地) (White Fabrics)		西 陣 Nishijin (帯) (Sash)	
	数 量 Quantity (千㎡) (1,000㎡)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	推定出荷数量 Estimated Shipments (本)	前年(月)比 Ratio to previous year
暦 年 Calendar Year								
2010	3,611	36.3	515,721	102.5	84,023	110.0	859,244	115.1
2011	3,152	87.3	475,989	92.3	70,803	84.3	692,943	80.6
2012	2,912	92.4	451,503	94.9	62,910	88.9	645,679	92.9
2013	2,940	101.0	433,451	96.0	55,792	88.7	630,586	97.7
2014	2,734	93.0	400,192	92.3	53,174	95.3	600,917	95.3
2015	2,316	84.7	351,309	87.8	41,893	78.8	526,417	87.6
2016	2,243	96.8	310,271	88.3	38,063	90.9	488,144	92.7
2017	2,195	97.9	294,451	94.9	36,227	95.2	477,594	97.8
2018	2,113	96.3	282,158	95.8	36,316	100.2	426,796	89.4
2019	1,939	91.8	253,429	89.8	27,584	76.0	380,224	89.1
2020	1,214	62.6	154,333	60.9	10,852	39.3	260,360	68.5
2019 - 1	156	92.9	15,850	91.5	2,510	83.5	31,925	91.0
2	171	97.7	24,978	99.7	2,783	95.6	32,095	89.1
3	163	92.6	21,859	93.5	2,728	82.9	34,578	85.6
4	175	92.1	23,299	90.2	2,616	80.7	33,794	80.9
5	175	93.1	14,796	70.7	2,526	75.5	33,197	87.7
6	166	85.6	25,926	94.9	2,523	89.5	34,972	99.6
7	164	96.5	21,364	84.7	2,364	70.0	28,371	87.6
8	135	86.0	16,997	87.1	1,808	69.0	28,344	95.1
9	149	95.5	24,336	95.6	2,194	81.0	34,001	114.8
10	163	89.6	19,204	83.8	2,007	64.0	28,356	72.5
11	166	91.7	22,989	91.3	1,849	60.7	30,119	92.2
12	156	88.1	21,831	90.9	1,676	59.6	30,678	83.0
2020 - 1	132	84.6	15,165	95.7	1,259	50.2	24,411	76.5
2	136	79.5	21,802	87.3	1,707	61.3	26,233	81.7
3	145	89.0	17,996	82.3	1,792	65.7	28,783	83.2
4	136	77.7	18,393	78.9	1,172	44.8	20,179	59.7
5	102	58.3	12,661	85.6	669	26.5	11,341	34.2
6	99	59.6	9,326	36.0	690	27.3	21,317	61.0
7	103	62.8	8,532	39.9	361	15.3	18,561	65.4
8	89	65.9	7,147	42.0	613	33.9	16,344	57.7
9	102	68.5	10,011	41.1	451	20.6	20,505	60.3
10	106	65.0	10,443	54.4	645	32.1	24,142	85.1
11	111	66.9	11,523	50.1	874	47.3	24,658	82.2
12	116	74.4	11,334	51.9	619	36.9	24,280	79.1
2021 - 1	87	65.9	9,930	65.5	773	61.4	19,619	80.4
2	91	66.9	11,810	54.2	910	53.3	20,969	81.0
3	95	65.5	11,526	64.0	1,129	63.0	26,690	92.8
4	103	75.7	14,265	77.6	755	64.4	25,705	129.1
5	105	102.9	11,586	91.5	952	142.3	24,566	215.7
6	119	120.2	13,201	141.6	870	126.1	29,082	136.5
7	106	102.9	14,672	172.0	938	259.8	24,811	133.7
8	93	104.5	10,040	140.5	1,072	174.9	24,161	147.8
9	108	105.9	13,545	135.3	1,092	242.1	24,360	118.8
10	115	108.5	15,194	145.5	1,038	160.9	26,324	107.9
11			13,557	117.7	1,463	167.4		

資料 : 絹織物生産数量は(一社)日本絹人織織物工業会(～2020.6) 経済産業省生産動態統計 (2020.8～)

主要3産地の生産量、出荷数量は各産地組合の発表による。

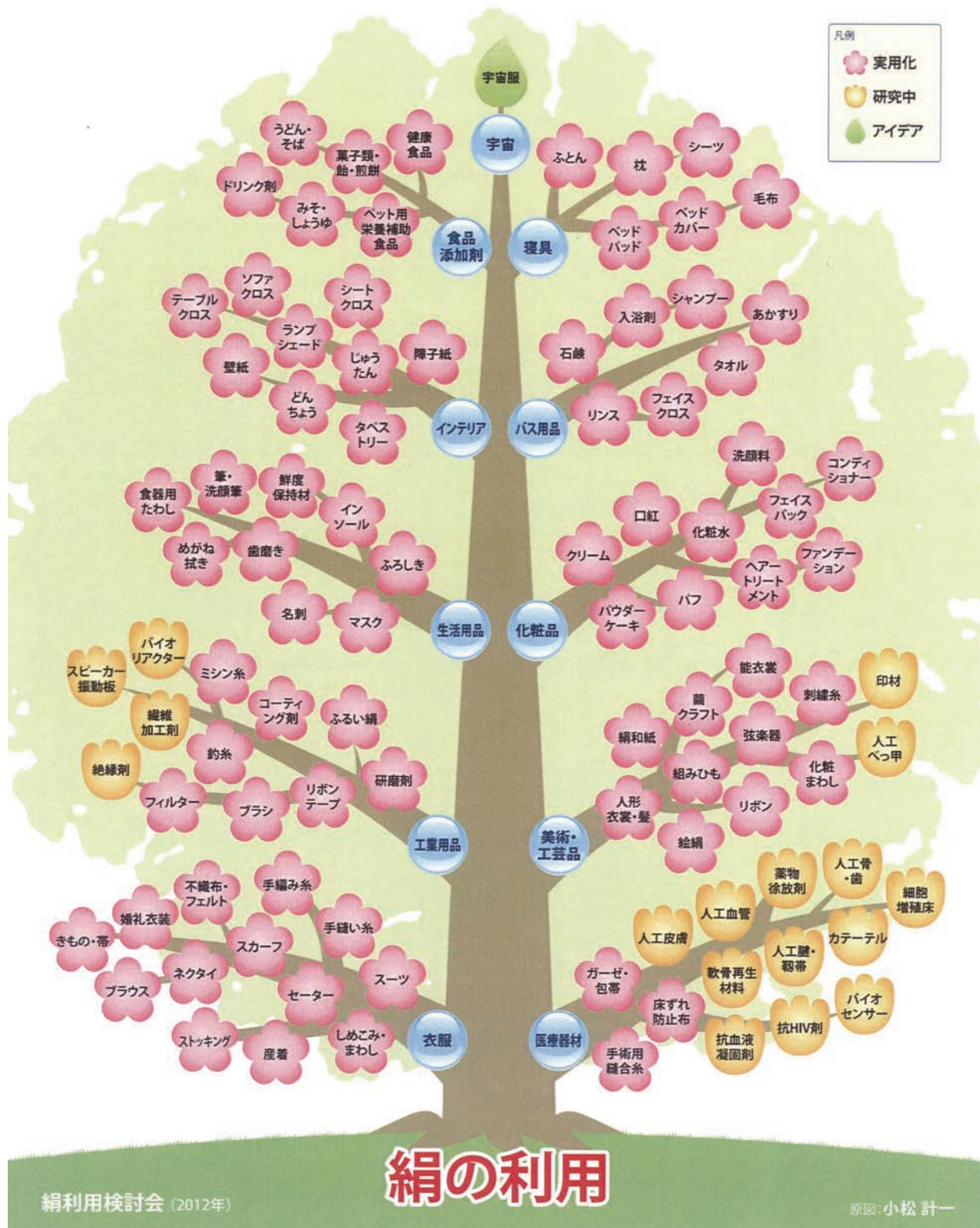
備考 : 西陣は京都府織布生産動態調査数値の修正により前年比が合わない場合がある。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association(～2020.6). Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics(2020.8～)

The numbers of Production and Shipments of 3major producing areas are reported by their local unions.

Remarks : Ratio to previous year in Nishijin may become incorrect if there is a correction in the statistical survey on the production dynamics of woven fabrics in Kyoto prefecture.

絹利用の系統樹



－資料・海外－

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2015年	2016年	2017年
日本	Japan	トン 135	トン 130	トン 125
中国	China	628,000		
インド	India	151,787	155,688	161,684
ウズベキスタン	Uzbekistan	27,237		
イラン	Iran	12,538		
タイ	Thailand	4,881		
ブラジル	Brazil	2,870	2,913	2,995
ベトナム	Vietnam	2,515		
北朝鮮	North Korea	937		
トルコ	Turkey	75		
ブルガリア	Bulgaria	65		
インドネシア	Indonesia	57		
シリア	Syria	3.0		
主要国の計	Total	831,100	158,731	164,804

区 分		2018年	2019年	2020年
日本	Japan	トン 110	トン 92	トン 80
中国	China			
インド	India	185,560	185,143	
ウズベキスタン	Uzbekistan			
イラン	Iran			
タイ	Thailand			
ブラジル	Brazil	3,024	3,034	
ベトナム	Vietnam			
北朝鮮	North Korea			
トルコ	Turkey			
ブルガリア	Bulgaria			
インドネシア	Indonesia			
シリア	Syria			
主要国の計	Total	188,694	188,269	80

注 日本は(一財)大日本蚕糸会、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会 (ISC)及びFAOの統計値を使用し、2016年以降はデータが取れない。

Note Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB),Ministry ofTextiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association(ABRASSEDA).

Others than these countries,based on the data of International Sericulture , however, there is no data available since 2016 Commission (ISC).

(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格

Spot Price of Various Silk Goods

2021年8月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	140.50 ~ 154.50	2,389 ~ 2,627
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	152.75 ~ 170.75	2,597 ~ 2,903
3	玉繭(double cocoon)		126.00 ~ 138.00	2,142 ~ 2,346
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	113.00 ~ 148.25	1,921 ~ 2,520
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	430.50 ~ 444.50	7,319 ~ 7,557
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	430.75 ~ 447.25	7,323 ~ 7,603
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	438.00 ~ 456.00	7,446 ~ 7,752
8	玉糸(doupion silk)	110d	418.75 ~ 428.75	7,119 ~ 7,289
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	41.00 ~ 46.70	697 ~ 794
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	58.50 ~ 66.00	995 ~ 1,122
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	50.00 ~ 55.50	850 ~ 944
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	40.25 ~ 46.25	684 ~ 786

注:1元=17円

1 CNY=17JPY

2021年9月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	137.60 ~ 149.20	2,339 ~ 2,536
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	148.60 ~ 166.80	2,526 ~ 2,836
3	玉繭(double cocoon)		122.20 ~ 135.20	2,077 ~ 2,298
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	112.00 ~ 138.00	1,904 ~ 2,346
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	430.60 ~ 440.60	7,320 ~ 7,490
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	432.20 ~ 444.20	7,347 ~ 7,551
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	435.60 ~ 443.80	7,405 ~ 7,545
8	玉糸(doupion silk)	110d	412.20 ~ 422.20	7,007 ~ 7,177
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	42.60 ~ 46.14	724 ~ 784
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	58.50 ~ 66.00	995 ~ 1,122
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	49.90 ~ 55.40	848 ~ 942
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	40.90 ~ 46.90	695 ~ 797

注:1元=17円

1 CNY=17JPY

資 料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表

Source:China Silk Exchange(Zhejiang Sheng Jia Xing)

2021年10月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	140.25 ~ 147.25	2,525 ~ 2,651
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	146.25 ~ 165.50	2,633 ~ 2,979
3	玉繭(double cocoon)		122.25 ~ 135.25	2,201 ~ 2,435
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	112.00 ~ 138.00	2,016 ~ 2,484
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	435.50 ~ 438.50	7,839 ~ 7,893
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	438.50 ~ 445.50	7,893 ~ 8,019
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	433.25 ~ 441.50	7,799 ~ 7,947
8	玉糸(doupion silk)	110d	412.00 ~ 422.00	7,416 ~ 7,596
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	42.63 ~ 45.63	767 ~ 821
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	58.13 ~ 65.63	1,046 ~ 1,181
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	49.13 ~ 54.63	884 ~ 983
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	40.13 ~ 46.13	722 ~ 830

注:1元=18円

1 CNY=18JPY

2021年11月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	140.00 ~ 147.00	2,520 ~ 2,646
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	145.00 ~ 165.25	2,610 ~ 2,975
3	玉繭(double cocoon)		123.00 ~ 136.00	2,214 ~ 2,448
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	112.00 ~ 138.00	2,016 ~ 2,484
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	437.75 ~ 441.50	7,880 ~ 7,947
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	440.00 ~ 445.75	7,920 ~ 8,024
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	434.00 ~ 440.00	7,812 ~ 7,920
8	玉糸(doupion silk)	110d	412.00 ~ 422.00	7,416 ~ 7,596
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	40.00 ~ 45.63	720 ~ 821
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	59.00 ~ 65.13	1,062 ~ 1,172
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	49.00 ~ 55.50	882 ~ 999
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	42.00 ~ 47.00	756 ~ 846

注:1元=18円

1 CNY=18JPY

※「シルクレポート」の記事と統計データは、下記のホームページでもご覧になれます。

<http://www.silk-teikei.jp>

シルクレポート 2022 年 1 月号 No.72 令和 4 年 1 月 1 日発行

編集 / 発行

一般財団法人大日本蚕糸会

〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

TEL : 03-3214-3500

FAX : 03-3214-3511

URL : <http://www.silk-teikei.jp>

製本 / 印刷

株式会社正大印刷社

無断転載禁ず